

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事(週休2 日)

図 面 目 録

	図番	図面名称		図番	図面名称		図番	図面名称		図番	図面名称
電気	E001	表紙・図面目録		E044	本館 電灯設備 B 2 階平面図 (改修)						
	E002	電気設備工事特記仕様書 (1)		E045	本館 電灯設備 B 1 階平面図 (改修)						
	E003	電気設備工事特記仕様書 (2)		E046	本館 電灯設備 1 階平面図 (改修)						
	E004	本館 幹線・電灯・コンセント設備 配置図 (改修)		E047	本館 電灯設備 2 階平面図 (改修)						
	E005	幹線設備 系統図 (改修)		E048	本館 電灯設備 3 階平面図 (改修)						
	E006	幹線リスト・総合盤姿図 (改修)		E049	本館 電灯設備 4 階平面図 (改修)						
	E007	本館 幹線設備 B 2 階平面図 (改修)		E050	本館 電灯設備 便所詳細図 (1) (改修)						
	E008	本館 幹線設備 B 1 階平面図 (改修)		E051	本館 電灯設備 便所詳細図 (2) (改修)						
	E009	本館 幹線設備 1 階平面図 (改修)		E052	本館 非常照明・誘導灯設備 B 2 階平面図 (改修)						
	E010	本館 幹線設備 2 階平面図 (改修)		E053	本館 非常照明・誘導灯設備 B 1 階平面図 (改修)						
	E011	本館 幹線設備 3 階平面図 (改修)		E054	本館 非常照明・誘導灯設備 1 階平面図 (改修)						
	E012	本館 幹線設備 4 階平面図 (改修)		E055	本館 非常照明・誘導灯設備 2 階平面図 (改修)						
	E013	接地設備 系統図 (改修)		E056	本館 非常照明・誘導灯設備 3 階平面図 (改修)						
	E014	本館 接地設備 B 2 階平面図 (改修)		E057	本館 非常照明・誘導灯設備 4 階平面図 (改修)						
	E015	本館 接地設備 B 1 階平面図 (改修)		E058	本館 コンセント設備 B 2 階平面図 (改修)						
	E016	本館 接地設備 1 階平面図 (改修)		E059	本館 コンセント設備 1 階平面図 (改修)						
	E017	本館 接地設備 2 階平面図 (改修)		E060	本館 コンセント設備 2 階平面図 (改修)						
	E018	本館 接地設備 3 階平面図 (改修)		E061	本館 コンセント設備 3 階平面図 (改修)						
	E019	本館 接地設備 4 階平面図 (改修)		E062	本館 コンセント設備 4 階平面図 (改修)						
	E020	動力盤結線図 (1) (改修)									
	E021	動力盤結線図 (2) (改修)									
	E022	動力盤結線図 (3) (改修)									
	E023	本館 動力設備 1 階平面図 (改修)									
	E024	本館 動力設備 2 階平面図 (改修)									
	E025	本館 動力設備 3 階平面図 (改修)									
	E026	本館 動力設備 4 階平面図 (改修)									
	E027	分電盤結線図 (1) (改修)									
	E028	分電盤結線図 (2) (改修)									
	E029	分電盤結線図 (3) (改修)									
	E030	分電盤結線図 (4) (改修)									
	E031	分電盤結線図 (5) (改修)									
	E032	分電盤結線図 (6) (改修)									
	E033	分電盤結線図 (7) (改修)									
	E034	分電盤結線図 (8) (改修)									
	E035	分電盤結線図 (9) (改修)									
	E036	分電盤結線図 (1 0) (改修)									
	E037	分電盤結線図 (1 1) (改修)									
	E038	リモコンスイッチ系統図・展示室電源操作盤姿図 (改修)									
	E039	展示室照明制御システム図									
	E040	照明器具姿図 (1) (改修)									
	E041	照明器具姿図 (2) (改修)									
	E042	照明器具姿図 (3) (改修)									
	E043	照明器具姿図 (4) (改修)									

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事(週休2 日) 設計図			
表紙・図面目録			No.E001
縮 尺	A 1 : - A 3 : -	62	枚 の 中
設計 令和 6 年 3 月 日			
名古屋市住宅都市局営繕部設備課			
株式会社 浦野設計			本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。

記入上の注意事項：手書きかC A Dの場合はゴシック体で記入すること。

電気設備工事特記仕様書

工事名称

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事（週休2日）

工事場所

名古屋市瑞穂区瑞穂通1丁目27番地の1

建物概要

敷地面積

19,238.68㎡

延べ面積

18,870.03㎡

構造

S F C造

階数

地上5階

地下2階

塔屋

1階

用途地域

第一種住居地域

防火対象物種別

第8項

工事概要

博物館リニューアル改修その他工事（週休2日）に伴う下記電気工事一式

工事種目

（○印の付いたものが対象工事）

●電灯設備

●動力設備

●熱源設備

●雷保護設備

●受変電設備

●電力貯蔵設備

●発電設備

●構内情報通信網設備

●構内交換設備

●情報表示設備

●映像・音響設備

●誘導支援設備

●テレビ共同受信設備

●テレビ電波障害防除設備

●監視カメラ設備

●駐車場管制設備

●防犯・入退室管理設備

●自動火災報知設備

●非常警報設備

●ガス漏れ火災警報設備

●中央監視制御設備

●ナースコール設備

特記仕様

1.図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下「標準仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版」（以下「標準図」という。）による。その他、住宅都市局が定める規定「住宅都市局工事施行要綱」等の要綱、要領、基準及びガイドラインなどに従って施工すること。

なお、「住宅都市局工事施行要綱」「住宅都市局工事成績評定要領」「電気設備工事設計・施工マニュアル」等の参照、及び書式のダウンロードは、名古屋市公式ウェブサイト上から可能となっている。

【名古屋市公式ウェブサイト（https://www.city.nagoya.jp/）】

名古屋市公式ウェブサイト

事業向け情報

都市計画・建築

市設建築物の建設

委託・工事関連の各種マニュアルのダウンロード

住宅都市局工事・業務委託の施行・検査

住宅都市局工事施行要綱

住宅都市局工事成績評定要領

住宅都市局週休2日工事実施要領（営繕工事）

住宅都市局建設キャリアアップシステム活用推奨モデル工事実施要領

住宅都市局営繕工事の建設現場における遠隔現場に関する試行要領

2.設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次による。これにより難い場合は、標準仕様書（1-1.1.8）「疑義に対する協議等」による。

（1）質問回答書

（2）特記仕様書

（3）設計図書

（4）電気設備工事設計・施工マニュアル

（5）標準仕様書及び標準図

3.「監督員」は、「住宅都市局工事施行要綱」による監督員をいう。

本工事が工事監理委託をしている場合は、本市の承諾を受けた者が、本市監督員の指示する監督業務を代行する。標準仕様書における「監督職員」は、本工事においては「監督員」と読み替えるものとする。

4.この特記仕様書の取扱いは、次の通りとする。

（1）本工事に該当する項目のみに適用する。ただし、軽微な事項については監督員と協議する。

（2）項目に記載の（ ）内の表示番号は、標準仕様書の該当項目を示す。

（3）※印と○印のついた場合は、※印のついたものを適用する。

（4）※印と○印がついた場合は、○印のついたものを適用する。

（5）※○印と○印がついた場合は、共に適用する。

（6）○印と・印がついた場合は、○印のついたものを適用する。

（7）・印は○印がついた場合は適用する。

項目

特記事項

1一般共通事項

1.監視技術者等（注）

受注者は、工事現場における建設工事の技術上の管理をつかさどる者として、主任技術者又は監理技術者を配置すること。

配置する技術者は、下請代金総額が5,000万円（建築一式工事の場合は8,000万円）以上の工事は監理技術者とし、その他の場合は主任技術者とする。

また、請負代金額が4,500万円（建築一式工事の場合は9,000万円）以上の工事となる場合、監理技術者又は主任技術者は工事現場に専任の者でなければならない。ただし、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける主任技術者又は監理技術者については、この限りでなく、建設業法第26条第3項第二に掲げる監理技術者を設置する場合には、当該工事現場に監理技術者の行うべき職務を補佐する者（以下「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。

なお、主任技術者、監理技術者又は監理技術者補佐（以下「監理技術者等」という。）は、受注者と開札日（随意契約による場合は見積書の提出のあった日）以前に3か月以上の直接的かつ恒常的雇用関係にある者とし、やむな監理技術者等を変更する場合は、変更日より3か月以上の直接的かつ恒常的雇用関係にある者を配置すること。

現場代理人、専任を要する監理技術者等は、営業所技術者と兼務することはできない。ただし、建設業法第26条の5の規定の適用を受ける営業所技術者については、主任技術者又は監理技術者の職務を兼ねることができる。

監理技術者等の途中交代の条件の具体的な内容は、監理技術者制度運用マニュアル（国土交通省）に記載の一般的な交代の条件や、下記の通りとする。なお同等以上の技術力を有する技術者と交代であること。

・

【共同企業体（経常建設・特定建設工事）について】

(1)全ての構成員が、国家資格を有する主任技術者（経常建設共同企業体は、原則として国家資格を有する主任技術者）を配置すること。なお、下請代金総額が5,000万円（建築一式工事の場合は8,000万円）以上の工事は、構成員の内1社（通常は代表者）が監理技術者を配置すること。

(2)請負代金額が4,500万円（建築一式工事の場合は9,000万円）以上の工事は、全ての監理技術者及び主任技術者を専任として配置すること。

2.建設業法第26条第3項第二に掲げる監理技術者（注）

建設業法第26条第3項第二に掲げる監理技術者の配置 ※認める ・認めない

上記において、建設業法第26条第3項第二に掲げる監理技術者の配置が認められている場合、監理技術者は監理技術者補佐を当該工事現場に専任で配置することにより、請負代金額が4,500万円（建築一式工事の場合は9,000万円）以上であっても複数の工事現場を兼務することができるが（複数工事の兼務を行う場合は、工事現場に常駐が求められる現場代理人を兼務することはできない）、兼務できる工事現場数は2件までとし、著しい低入札工事や高度な技術を要する工事など、監督員が兼務することが困難と認める工事は兼務することができないものとする。

また、兼務する工事現場は元請として職務が適正に遂行できる範囲とし、兼務する

項目

特記事項

3.工事実績情報システム（CORIS）への登録（1-1.1.4）

請負代金額が500万円以上の工事は、受注時、登録内容変更時及び完了時に工事実績情報を作成し、監督員に確認を受けたのちに、（一財）日本建設情報総合センターに登録し、登録内容確認書を監督員に提出する。

（注）登録内容変更時とは、工期、技術者配置、請負代金額の変更の場合を言う。

4.施工体制台帳（1-1.1.5）

建設業法第24条の8第1項の規定により作成した施工体制台帳（同項の規定により記載すべきものとされた事項に変更が生じたことに伴い新たに作成されたものを含む。）の写しを監督員に提出すること。（対象は、下請契約を締結した工事。〔公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第15条第1項及び第2項〕

下請契約を締結した建設業許可業者について、作成した施工体制台帳により社会保険等（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に未加入であることを確認した場合は、「社会保険等未加入状況報告書」及びその施工体制台帳のうち、未加入下請負人であることを確認できる部分の写しを監督員に提出すること。

5.労災法定外保険等

労働災害被災者救済のために労働者災害補償保険法以外の法定外保険等（以下「労災法定外保険等」という。）に速やかに加入し、以下の項目について確認ができる、保険会社からの証明書もしくは保険証券の写しを提出すること。

(1)死亡ないし重度（労働者災害補償保険法施行規則附表第一による第一級から第三級）の障害時における補償金額は、1人につき、500万円以上であること。

(2)保険等の対象者は、当該工事に従事するすべての労働者であること。

(3)当該工事の着工から完了までの、全期間が保険期間であること。

6.建設業退職金共済制度

建設業退職金共済制度に加入すること。請負代金額が100万円以上の場合は、その掛金収納書（発注者用）を工事請負契約締結後原則1か月以内（電子申請方式による場合による場合にあつては、工事請負契約締結後原則40日以内）に提出する。

また、建設キャリアアップシステムの活用等により技能労働者等の就労状況を適切に把握し、これに基づく履行状況について、工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、監督員に提示しなければならない。

(1)共済証紙については、建設現場ごとの建設業退職金共済制度対象労働者数、及び就労予定日数を的確に把握したうえ、必要な枚数分を購入することとし、これを当該労働者の共済手帳に貼付する。

なお、確かな把握が困難な場合は、請負代金額（消費税等を含む）に対する率として以下を参考にすること。

工 事 種 別	設 備	電波障害対策工事等
請負代金額（消費税等額含む）		
100万円以上 1,000万円未満	3.2/1,000	2.9/1,000
1,000万円以上 5,000万円未満	3.0/1,000	2.1/1,000
5,000万円以上 1億円未満	2.5/1,000	1.8/1,000
1億円以上 5億円未満	2.1/1,000	1.4/1,000
5億円以上	1.8/1,000	1.1/1,000

（注）上表は、労働者延べ就業予定数の7割が建設業退職金共済制度対象労働者（被共済者）であると仮定した数値であるため、被共済者が、労働者延べ就業予定数の7割とならない工事については上表の数値に、対象工事における労働者の建退共済度加入率（％）／70（％）を乗じて補正すること。

(2)2年度以上にわたる工事については、各年度の前払金請求時に所定の証紙購入額に各年度の出来高予定割合を乗じた金額以上の証紙を購入し、最終年度前払金請求時の証紙購入により証紙購入額の合計が所定の証紙購入額に達するよう分割購入してもよい。

(3)退職金制度のある受注者の社員のみにより工事施工する場合など、この制度の趣旨に該当しない場合は、その旨を監督員に文書により通知し了承を得て、建設業退職金共済制度への加入及び掛金収納書の提出を省くことができる。

7.工 事 の 保 険

組立保険又は火災保険（地中埋設工事等の火災の恐れのないものを除く。）に加入し、以下の項目について確認ができる、保険会社からの証明書もしくは保険証券の写しを速やかに提出すると共に請負業者賠償責任保険の加入にも努め、現場内外の不測の事故対策に配慮すること。

(1)保険内容は請負契約金額以上のこと。

(2)保険期間は、工事着手のときから工事目的の引渡しの日まで（特に定めのない限り、契約上の工事完成期日経過後14日とする。）であること。

8.工事の一時中止（1-1.1.9）

工事の一時中止に係る計画の作成

(1)名古屋市工事請負契約約款第19条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事一時中止に伴う工事現場の維持、管理等に関する基本計画書（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。

なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来高、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。

(2)工事の施工を一時中止する場合は、工事の統行に備え工事現場を保全すること。

9.埋蔵文化財その他の物件（1-1.1.12）

工事の施工に当たり、設計図書に明示されていない物件を発見した場合は、一旦作業を停止し、直ちにその状況を監督員に報告し、その後の措置については、監督員の指示に従うこと。なお、発見された物件が土器又は土壌などの出土品や、石列又は溝などの遺構の場合は、教育委員会文化財保護課が、文化財の保護上必要な措置を行うため、その措置に協力すること。

10.工事に関する報告

工事事項、労働者職種別人員、搬入資材などの工事状況等を記録した工事日報、並びに監督員が連絡した事項又は監督員と協議した事項等について、記録した打合記録を監督員に提出する。工事に関する報告の書式は住宅都市局工事施行要綱により、住宅都市局工事施行要綱にない場合は監督員と協議する。

ただし、工事が30日以内の工事又は軽易な工事で、監督員が、その必要がないと認めたものについては、これを省略することができる。

11.施 工 条 件（1-1.3.3）

施工日 ※ 行政機関の休日に関する法律に定める行政機関の休日は、施工しない。ただし、あらかじめ書面により、監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。

・

文化財等 ・ 特別史跡（名古屋城跡）又は名勝（名古屋城二之丸庭園）

・ 史跡

・ 周知の埋蔵文化財包蔵地

その他

12.施工中の安全確保（1-1.3.5）

工事の施工にあつては、関係法令等及び建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）（令和元年9月2日付 国土交通省告示第496号）を遵守するほか、 作業者の安全確保に努める。

20m以上周囲の地中埋設管については、注意を払うこと。特に、ガス埋設管においては、ガス供給会社による工事着手前のガス管位置の経路調査（無償）を活用するなど、ガス管損傷事故防止に努めること。

仮囲いその他でフォードエンスを使用するうえで、第三者の接近が予測される場合は、外側をシート等で覆いかつ工事エリアを表示する。

項目

特記事項

13.交通安全管理（1-1.3.6）

工事材料及び土砂等の搬送計画並びに通経路の選定その他車両の通行に関する事項について、関係機関と調整のうえ、交通安全管理を行うこと。また、資材等の輸送にあたっては、過積載など違法運行防止に努めること。

14.工 事 事 故（1-1.3.7）

工事に関連して事故が発生した場合には、人命の安全確保をすべてに優先させるとともに、二次災害が発生しないよう工事現場の安全確保に努め、直ちに監督員に通報し、工事事故発生報告書を提出すること。

15.地震発生時等の対応（1-1.3.7）

名古屋市区（市外の工事の場合は工事場所の市町村域）において震度5強以上の地震が発生したときは、現場の状況を確認し、被害の有無に関係なく、以下に示す報告先へ報告を行うこと。また、震度5弱以下であっても地震により被害を受けた場合は、監督員へ報告を行うこと。

なお、被災後、現場に勤務する受注者の職員全員が現場を離れる場合は、報告事項を記載した書面を工事表示板設置箇所に掲示すること。

〔営繕部が監理する工事〕

報 告 先：住宅都市局 営繕班 所管工事現場チーム（住宅都市局営繕部内）

報告手段〔次のいずれかにによる〕

電子メール a2964-01@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

（本文に報告事項を入力）

ファックス (052)972-4487 （読み取れる大きさの文字で）

電話 (052)972-2962、(052)972-2988、(052)972-2983

報告事項：①報告年月日・時刻 ②工事件名 ③場所（住所等）

④物的被害 ⑤人的被害 ⑥被害に対する応急措置

⑦その他の情報 ⑧連絡者の会社・氏名・連絡先

〔上記以外の工事〕

報 告 先：監督員（又は事前の打合せにより指示された報告先）

報告手段：電子メール・ファックス・電話のいずれか

報告事項：上記と同じ

〔「南海トラフ地震臨時情報」の発表に伴う対応〕

南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まった旨の「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合、受注者は、継続的に地震関連情報の収集に努め、工事中の建築物及び仮設物に対し、必要な安全対策措置が実施されているかの確認、及び作業員や必要に応じ第三者に対する安全の再確認を行うなど、有事に際して備えを行うこと。

16.施工中の環境保全等（1-1.3.8）

工事の施工にあつては、関係法令等を遵守するほか、騒音、振動、粉じん、臭気、大気汚染、水質汚染等の影響が生じないよう周辺の環境保全に努めること。

また、仕上塗材、塗料、シーリング材、接着剤その他の化学製品の取り扱いにあつては、当該製品の製造所が作成したJIS Z 7253（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS））による、安全データシート（SDS）を常備し、記載内容の周知徹底を図るため、ラベル等により、取り扱う化学品の情報を作業場内に表示し、作業者の健康及び環境保全に努めること。

17.石綿のばく露防止対策等

(1)石綿障害予防規則第3条第1項及び大気汚染防止法第18条の1第5項に基づき、工事に係る建築物等について、石綿等の使用の有無を調査すること。（石綿等の粉じんが発散しないことが明らかである場合はこの限りではない。）また、調査にあたり、事前調査着手前に事前調査の計画書を作成し、監督員に提出すること。事前調査後は結果を監督員に提出し、内容を説明すること。

(2)労働安全衛生法・石綿障害予防規則及び大気汚染防止法に基づく届出をした場合は届出が行われていること、及び石綿のばく露防止対策及び飛散防止対策の実施内容を関係労働者のみならず周辺住民へも周知するために作業現場の見やすい場所に掲示すること。

(3)石綿障害予防規則の届出を要しないが、石綿処理工事を行う場合は、石綿のばく露防止対策及び飛散防止対策の実施内容を同様に提示すること。

(4)石綿処理工事を行わない場合は、石綿が使用されていないことを同様に提示すること。

18.工事現場の環境

工事現場において、男女別トイレ、更衣室等の設置など誰もが働きやすい環境に配慮した職場環境づくりに心がける。

19.受動喫煙防止対策

市施設の建物内は全面禁煙（入所施設等、利用者が生活を営む施設は対象外）のため、工事関係者へ周知し、禁煙とする。

市施設の敷地（病院、学校、保育園、市役所庁舎）については、工事関係者へ周知の上、禁煙とする。ただし、上記施設と複合施設である場合、施設の存する建物の周囲水平方向7mまでを敷地とみなす。

市施設の敷地（病院、学校、保育園、市役所庁舎以外）については、工事関係者へ周知の上、禁煙に努めること。

ただし、上記以外の場合は、監督員との協議による。

20.発生材の処理等（1-1.3.9）

引渡しを要する発生材の有無

※ なし ・ あり（ ・ ）

水銀使用製品産業廃棄物の有無

※ なし ○ あり（○照明器具ランプ ・ ）

特別管理産業廃棄物の有無

※ なし ・ あり（ ・ P C B使用機器 ・ 石綿含有物 ）

（ ・ ）

変圧器等にP C Bが使用されている場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第八条の十三特別管理産業廃棄物保管基準に従い建物管理者に引渡すこと。

廃棄物となったコンクリート、コンクリート及び破砕から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリートは、監督員が指示するものを除き、それぞれ工事現場で分別し、原則として、再生プラント等へ搬出し再資源化に努めること。

なお上記以外の建設副産物については廃棄物処理関係の法律及び建設副産物適正処理推進要綱を遵守し、分別及び適正処理に努める。

建設副産物の処理については充分配慮し、関係法規等を遵守し適切に行うこと。

発生材等の搬出処理にあつては以下の事項を行うものとする。

（1）下記のいずれかに該当する工事は再生資源利用促進（計画書・実施書）を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」に掲載されているCREDAS機能により作成し監督員に内容を説明の上、電子データ（PDF形式）も併せて提出するとともに、工事完了後5年間保存する。

①最終請負代金額が100万円以上の工事

②建設発生土の搬出量500m3以上の工事

③ソリ10塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生土の搬出量の合計200t以上の工事

（2）再生資源利用促進計画書を公衆の見やすい場所に掲示する。

（3）再生資源利用促進計画書を変更したときは変更の内容を報告する。

項目

特記事項

21.再生資源の利用（1-1.3.9）

中間処分場及び最終処分場の写真等を監督員に提出する。

処理を委託した場合は契約書の写しを監督員に提出する。

本工事で発生する建設副産物のうち愛知県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、愛知県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。

下記のいずれかに該当する工事は再生資源利用（計画書・実施書）を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」に掲載されているCREDAS機能により作成し監督員に内容を説明の上、電子データ（PDF形式）も併せて提出するとともに、工事完了後5年間保存する。

①最終請負代金額が100万円以上の工事

②土砂の搬入量が500m3以上の工事

③砕石の搬入量が500t以上（比重2.0t/m3）の工事

④加熱アスファルト混合物の搬入量が200t以上（比重2.35t/m3）の工事

なお、再生資源利用計画書を公衆の見やすい場所に提示し、再生資源利用計画書を変更したときは変更の内容を報告する。

22.環境への配慮（1-1.4.1）

〔周辺環境への配慮〕

低騒音、低振動工法の採用に努める。また「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」、「排気ガス対策型建設機械指定要領」に基づく建設機械を使用する。

《建設機械…「名古屋市区間購入ガイドライン」公共工事における対象品目》

材料、廃棄物の搬入ルート、頻度、養生方法を検討し、周辺環境の保全に努める。

貨物自動車を使用する場合は、「貨物自動車等の車種規制不適合車の使用抑制等に関する要綱」（愛知県）に基づき、自動車NOx・PM法対策地域域外からの流入車も含め、車種規制不適合車の使用抑制に努める。

敷地内外の既存樹木の保全に努め、緑地、河川、池などに生息する既存生態系への影響を考慮する。また、地下水脈の水質保全に努める。

省エネルギーへの配慮

〔プレハブ化を採用するなど、現場加工、組立ての削減を検討する。〕

〔省資源化への配慮〕

資材、材料の搬入時の梱包の簡素化を検討し、仮設材、養生材の削減を図る。

本設のものや仮設として利用できないか検討を行う。

〔エコマテリアルへの配慮〕

仮設材、養生材、各種材料等は、優先的にリサイクル材料の使用に努める。また、リサイクル利用が困難な材料の使用の抑制に努める。有害物質を使用しない工法、材料の採用に努める。

〔グリーン購入への配慮〕

工事の使用材料については、グリーン購入に努めること。

現場事務所の手務用品等は、グリーン購入に努めること。

〔使用材料の調査報告〕

グリーン購入品目を採用した場合は「公共工事におけるグリーン購入ガイドライン」に基づく使用実績調査票を作成し、提出すること。

23.空気中化学物質汚染対策

本工事で使用する材料は、J A S、J I S等の材料規格において、ホルムアルデヒド放散量が規定されている場合はF☆☆☆☆とする。

また、揮発性有機化合物（以下、VOCという。）を含有しないもの又は含有量が少ないものを使用し、VOCの使用量の低減に努めること。

24.機器及び材料の品質等（1-1.4.2）

本工事に使用する機器及び材料（以下「機材」という。）は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（一社）公共建築協会」（以下「評価名簿」という。）に準拠する。

なお、評価名簿に登録されている製造所については、評価対象設備機材の内で評価を受けた対象材料の全ての種類・型式について登録されていると見なす。

25.使用機材の報告

主要な機器及び監督員と協議の上決定した機器について報告する。

26.機材の検査に伴う試験（1-1.4.5）

(1)監督員が指示するものについて試験を行うこと。

(2)主要機器及び監督員が指示する機器は、性能等の確認のため製造会社工場等で監督員等の立会いのうえ試験を行う場合がある。

27.施工の検査に伴う試験（1-1.5.4）

(1)施工の試験は、「26.機材の検査に伴う試験」(1)による。

(2)自家用電気工作物にあつては、工事完了後、当該施設の電気主任技術者の指示を受け、絶縁抵抗等の性能試験成績書を提出すること。

28.施工の立会い等（1-1.5.5）

施工の立会いを受けることが困難な場合は、監督員の承諾を受けて、工事写真その他の方法で立会いに代えることができる。

29.工事写真等

撮影時期、方法等は監督員の指示、営繕工事写真撮影要領（令和5年版）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 令和5年版」に準じる。

また、電子データは「41.完成図及び電子納品」により作成し提出する。

その他写真の提出

・建築基準法施行規則第4条に基づくツタハシ関係規定の工事写真（設備単独工事及び建物を包含する工事と完了検査申請書を提出する場合に限る。）

「デジタル工事写真の黒板板情報電子化」は、「デジタル工事写真の黒板板情報電子化に関する特記仕様書」に基づき、監督員と協議したうえで実施すること。なお「デジタル工事写真の黒板板情報電子化に関する特記仕様書」は、名古屋市公式ウェブサイトにて参照できる。

【名古屋市公式ウェブサイト（https://www.city.nagoya.jp）】

名古屋市公式ウェブサイト → 事業向け情報 → 都市計画・建築 → 住宅都市局工事・業務委託の施行・検査

（お願い）

不要となった設計図書はリサイクル可能な処分をしてください

名古屋市公式ウェブサイト（https://www.city.nagoya.jp）

名古屋市公式ウェブサイト

事業向け情報

都市計画・建築

住宅都市局工事・業務委託の施行・検査

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事（週休2日）

設計図

電気設備工事特記仕様書（1）

No. E002

縮 尺

62枚の内

設 計

令和 6 年 3 月 日

名古屋市住宅都市局営繕部設備課

完成年月

施 工 者

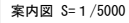
令和 年 月

（注）「1.監視技術者等」及び「2.建設業法第26条第3項第二に掲げる監理技術者」に記載の金額については令和7年2月1日以降に適用する。令和7年1月31日以前は「4,500万円」を「4,000万円」、「5,000万円」を「4,500万円」、「8,000万円」を「7,000万円」、「9,000万円」を「8,000万円」と読み替えるものとする。

令和 6年12月 改訂

記入上の注意事項：手書きかCADの場合はゴシック体で記入すること。

<



東側駐車場	
E-PL03	2
E-BL02	4
F-SP01	2

凡 例			
記 号	名 称	適 用	備 考
	高圧気中食荷開閉器	7.2kV 200A	
	照明器具	スポットライト	E-SP01, 02, 04, PL03, F-SP01
	照明器具	ウォールワッシャー・ダウンライト	E-WW01
	照明器具	直燈灯	E-BL01, 02, 03
	照明器具		E-LL01a, LL01b, LL02, SL03
	照明器具	ダウンライト	E-DL01
	コンセント	2P15A×1 接地極付 抜止め	
	防水型コンセント	2P15A×1 接地極付 カバー付	
 H1-9	ハンドホール	600×600×900 (有効)	鉄蓋R2K-60
 H1-SR8K	ハンドホール	600×600×900 (有効)	鉄蓋SR8K-60
 H2-9	ハンドホール	900×900×900 (有効)	鉄蓋R2K-60
 H2-SR8K	ハンドホール	900×900×900 (有効)	鉄蓋SR8K-60

注記. 特記なき配管配線は下記とする。

記 号	配 線	配 管
	EM-CE3. 5sq-3C(1OE)+EM-FQPEE-S1. 2-1P (コログアン)	
	EM-CE3. 5sq-3C(1OE) (コログアン)	
	EM-CE3. 5sq-3C(1OE)	(FEP30) 地中埋設
	EM-CE5. 5sq-3C(1OE) (コログアン)	
	EM-CE5. 5sq-3C(1OE)	(FEP30) 地中埋設
	コログアン配線	
	地中埋設配管配線	

注1. 太線で示す機器・配線は改修対象を示し、細線で示す機器・配線は工事対象外を示す。
注2. 器具色の選定は監督員と協議の上決定すること。

A	EM-CET100sq E14sq x 2 (FEP80)	電力監視
	EM-FPCPE-S0. 9-2P (FEP30)	
	EM-GES. 5sq-3C (1OE)	R1
	EM-GES. 5sq-3C (1OE)	R2
	EM-GES. 5sq-3C (1OE)	R3
	EM-GES. 5sq-3C (1OE)	R4
	EM-E14sq-2C E2. 0	R5
	EM-GES. 5sq-3C (1OE)	R6
	EM-GES. 5sq-3C (1OE)	
	EM-E14sq-2C E2. 0	
B	EM-E14sq-3C ES. 5sq	イベント用電源盤
	EM-CET38sq E5. 5sq	イベント用電源盤 2
	EM-GES. 5sq-3C (1OE)	

B	
EM-CES, 5sq-30 (10E)	207
EM-CESsq-2C E2, 0	208
EM-CESsq-2C E2, 0	209
EM-CEI4sq-2C E2, 0	210
EM-CEI4sq-2C E2, 0	211
EM-CEI4sq-2C E2, 0	212
EM-CEI4sq-2C E2, 0	213
EM-CES, 5sq-30 (10E)	214
EM-CES, 5sq-30 (10E)	215
EM-CEI4sq-2C E2, 0	216
EM-CESsq-2C E2, 0	217
EM-CESsq-2C E2, 0	218
EM-CES, 5sq-30 (10E)	219
EM-CES, 5sq-30 (10E)	220
EM-CES, 5sq-30 (10E)	221
EM-CES, 5sq-30 (10E)	222
EM-CES, 5sq-30 (10E)	223
EM-CES, 5sq-30 (10E)	224
EM-CES, 5sq-30 (10E)	225
EM-CES, 5sq-30 (10E)	226
EM-CES, 5sq-30 (10E)	227
EM-CES, 5sq-30 (10E)	228
EM-CES, 5sq-30 (10E)	229
EM-CES, 5sq-30 (10E)	230
EM-CES, 5sq-30 (10E)	
EM-CESsq-2C E2, 0	

西側駐車場	
E-PL03	2

ブロムナード	
E-LL01a	8
E-LL01b	4
E-LL02	5
E-SP03	10
E-WW01	6
E-SL03	1.5m

市道 名古屋市環状
幅員 32.730
道路種別 1号道路
法42条1項1号道路

配置図 (改修後) S=1/400

アプローチ	
E-SP03	6

プロムナード*
E-DL01

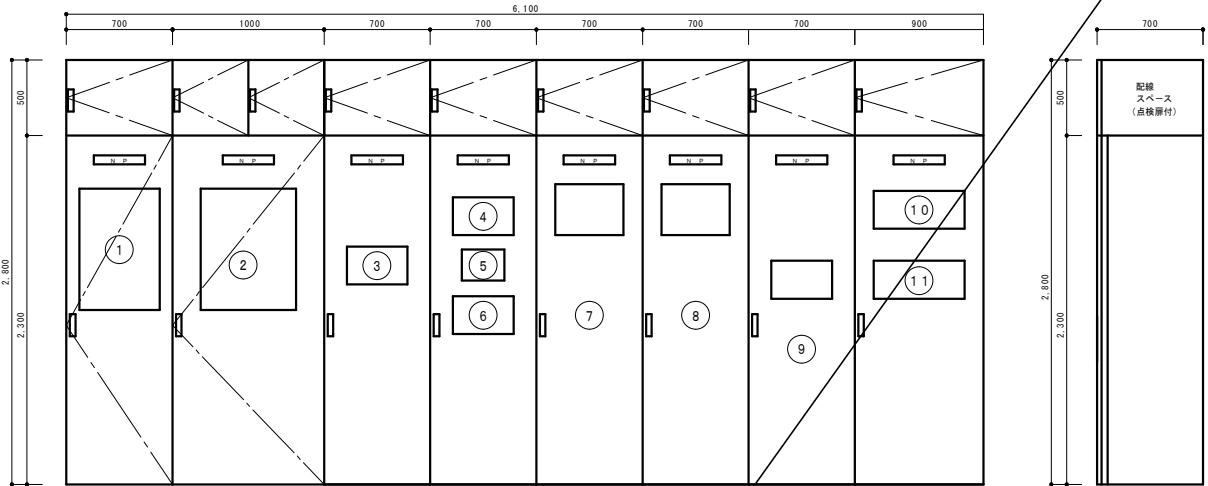
☐ NORTH ☐

株式会社 浦野設計

博物館展示室ノリニューアル改修その他電気工事(週休2 日) 設計図			
本館 幹線・電灯・コンセント設備 配置図(改修)			No. ED04
縮 尺	A1:1/400 A3:1/800		62
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部施設課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			

幹線リスト

No	負荷名称	配線サイズ	保護管			No	負荷名称	配線サイズ	保護管		
			屋内	屋外	地中埋設				屋内	屋外	地中埋設
A		6.6kV QET60sq	(G82)	(GLT82)	(FEP100)	FP1	PHP-1(排煙機)	EM-FPC-T250sq	(GP104)		
						FP2	スプリンクラーポンプ	EM-FPC-T100sq E14sq×2(ED・ELB)	(EP75)		
G1LB21	B2L-1	EM-FPC-T38sq	(EP63)			FP3	補助加圧ポンプユニット	EM-FPC8sq-3C E3.5sq(ED)	(EP39)		
G1LB11	B1L-1	EM-FPC-T100sq	(EP75)			FP4	スプリンクラー設備用コンプレッサー	EM-FPC8sq-3C E3.5sq(ED)	(EP39)		
G1LB12	B1L-2	EM-FPC-T14sq	(EP39)			FP5	屋内消火栓ポンプユニット	EM-FPC14sq-3C E8sq(ED)	(EP51)		
G1L11	1F分岐盤	EM-FPC-T14sq	(EP39)			FP6	B2P-2	EM-FPC8sq-3C	(EP39)		
G1L21	2L-1、3L-1、4F分岐盤	EM-FPC-T22sq	(EP51)			FP7	B1P-1	EM-FPC8sq-3C	(EP39)		
G1L21-1	2L-1	EM-FPC-T14sq	(EP39)			FP8	PHP-1	EM-FPC-T325sq	(GP104)	(GP104)	
G1L21-2	3L-1	EM-FPC-T14sq	(EP39)			FP9	PHP-2	EM-FPC-T325sq	(GP104)	(GP104)	
G1L21-3	4F分岐盤	EM-FPC-T14sq	(EP39)			GP1	B2P-1-1、B2P-1-2	EM-FPC-T60sq	(EP63)		
G1L51	5L-1	EM-FPC-T38sq	(EP63)			GP1-1	B2P-1-1	EM-FPC-T38sq	(EP63)		
G1L51-1	収7電源盤	EM-FPC-T22sq E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP51)			GP1-2	B2P-1-2	EM-FPC8sq-3C	(EP31)		
						GP2	5P-1、5P-2	EM-FPC-T150sq 38sq×2(ED・ELB)	(GP104)		
2LB01	南側EPS	バスダクト2500A				GP2-1	5P-1	EM-FPC8sq-3C	(EP39)		
2LB11	B1L-1	EM-QET325sq E38sq×2(ED・ELB)	(GP104)								
2LB11-1	収3電源盤	EM-QET14sq E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP51)			東FP1	東館消火栓ポンプ	EM-FPC-T38sq	(EP63)		(FEP125)
2LB11-2	展示収電源盤	EM-QET14sq E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP51)			東FP2	東館補助加圧ポンプ	EM-FPC8sq-3C	(EP51)		
2LB11-3	写真室電源盤	EM-QET38sq E8sq(ED)	(EP63)			東FP3	東館3P-1	EM-FPC-T100sq	(GP82)		(FEP125)
2LB11-4	OA盤	EM-QET60sq E8sq×2(ED・ELB)	(EP63)								
2L11	1F分岐盤	EM-QET250sq E38sq×2(ED・ELB)	(GP104)			2PB21	B2P-1-2	EM-QET250sq×2 E60sq×2(ED・ELB)	(GP104)×2		
2L11-1	1L-1	EM-QET200sq E14sq×2(ED・ELB)	(GP104)			2PB22	B2P-2	EM-QET200sq×2 E60sq(ED)	(GP104)×2		
2L11-2	特展2電源盤	EM-QET150sq E14sq(ED)	(GP92)			2PB23	EV1制御盤	EM-QE8sq-3C E8sq(ED)	(EP31)		
2L11-3	特展3電源盤	EM-QET100sq E14sq×2(ED・ELB)	(GP82)			2PPH1	EV2制御盤	EM-QET38sq E8sq(ED)	(EP63)		
2L21	2L-1	EM-QET60sq E14sq×2(ED・ELB)	(EP63)			2PB13	EV3制御盤	EM-QET14sq E5.5sq(ED)	(EP51)		
2L31	3F分岐盤	EM-QET200sq E38sq×2(ED・ELB)	(GP104)			2PPH2	EV4制御盤	EM-QET100sq E8sq(ED)	(EP75)		
2L31-1	特展展電源盤	EM-QET60sq E14sq×2(ED・ELB)	(EP63)			2PB11	B1P-1	EM-QET200sq×2 E22sq×2(ED・ELB)	(GP104)×2		
2L31-2	特展4電源盤	EM-QET60sq E14sq×2(ED・ELB)	(EP63)			2PB12	B1P-2	EM-QET100sq E8sq×2(ED・ELB)	(EP75)		
2L31-3	3L-1	EM-QET200sq E14sq×2(ED・ELB)	(GP104)			2PPH3	PHP-2	EM-QET250sq E14sq×2(ED・ELB)	(GP104)	(GP104)	
2L41	4F分岐盤	EM-QET150sq E22sq×2(ED・ELB)	(GP92)			2PPH4	PHP-3、PHP-4	EM-QET325sq	(GP104)	(GP104)	
2L41-1	イベントホール電源盤	EM-QET60sq E14sq×2(ED・ELB)	(EP63)			2PPH4-1	PHP-4	EM-QET14sq E5.5sq(ED)	(EP51)	(GP42)	
2L41-2	4L-1	EM-QET200sq E14sq×2(ED・ELB)	(GP104)			2PWS1	幹線分岐盤	EM-QET60sq E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP63)	(GP70)	(FEP65)
2L51	5L-1	EM-QET250sq E60×2(ED・ELB)	(GP104)			2PWS1-1	WS線RS-1	EM-QET38sq E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP63)	(GP54)	(FEP50)
2L51-1	収4.5電源盤	EM-QET38sq E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP63)			2PW1	ミスド制御盤	EM-QET14sq E3.5sq×2(ED・ELB)	(EP51)	(GP42)	(FEP40)
2L51-2	収6電源盤	EM-QET38sq E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP63)								
2L51-3	OA盤1	EM-QET60sq E8sq(ED)	(EP63)			3PB11	B1P-3	EM-QET250sq E22sq×2(ED・ELB)	(GP104)	(GP104)	
2L51-4	OA盤2	EM-QET100sq E8sq(ED)	(EP75)			3PB12	B1P-4	EM-QET38sq E8sq(ED)	(EP63)	(GP54)	
2L51-5	PHL-1	EM-QE5.5sq-3C E3.5sq×2(ED・ELB)	(EP31)			3PB13	煙蒸庫動力盤	EM-QET150sq E14sq×2(ED・ELB)	(GP82)		
						3P11	1P-1	EM-QET14sq E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP51)		
3LB21	B2L-1	EM-QET60sq E14sq×2(ED・ELB)	(EP63)			3P12	1P-2	EM-QET100sq E8sq×2(ED・ELB)	(EP75)	(GP82)	
3LB22	収1電源盤	EM-QET14sq E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP51)			3P13	1P-3	EM-QET200sq×2 E22sq×2(ED・ELB)	(GP104)×2	(GP104)×2	
3LB23	収2電源盤	EM-QET14sq E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP51)			3P21	2P-1	EM-QET100sq E8sq×2(ED・ELB)	(EP75)		
3LB24	B2L-2	EM-QET60sq E14sq(ED)	(EP63)			3P31	3P-1	EM-QET100sq 8sq×2(ED・ELB)	(EP75)		
3LB12	B1L-2	EM-QET100sq E14sq×2(ED・ELB)	(GP82)			3P41	4P-1	EM-QET60sq E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP63)		
3L12	特展1電源盤	EM-QET38sq E8sq×2(ED・ELB)	(EP63)			3P51	5P-1	EM-QET200sq×2 E38sq×2(ED・ELB)	(GP104)		
3L13	1L-2	EM-QET60sq E14sq×2(ED・ELB)	(EP63)			3P52	5P-3	EM-QET250sq E60sq×2(ED・ELB)	(GP104)		
3L13-1	ミュージアム7F電源盤	EM-QE8sq-3C E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP39)			3P53	5P-3	EM-QET200sq×2	(GP104)×2		
3L32	常展2電源盤	EM-QET250sq E22sq×2(ED・ELB)	(GP104)			3P54	5P-4	EM-QET14sq E5.5sq×2(ED・ELB)	(EP51)		
3L42	常展1電源盤	EM-QET325sq E22sq×2(ED・ELB)	(GP104)			3PPH1	PHP-1	EM-QET150sq E60sq×2(ED・ELB)	(GP104)		
3LWS1	WSL-1	EM-QET200sq E22sq×2(ED・ELB)	(GP104)		(FEP100)	3PPH2	PHP-3	EM-QET250sq	(GP104)	(GP104)	
3L01	外構用電源盤	EM-QET100sq E14sq×2(ED・ELB)	(EP75)		(FEP80)	3PPH3	PHP-3	EM-QET150sq E22sq×2(ED・ELB)	(GP82)	(GP82)	
東L1	東1L-1	EM-QET200sq×2	(GP104)×2		(FEP150)	5PB01	B2P-1-1	バスダクト2500A			
東L2	東1L-1(東2L-1、東3L-1)	EM-QET250sq×2	(GP104)×2		(FEP200)						
東L3	予備	EM-QET100sq	(EP75)		(FEP125)	東P1	東1P-1(R-1+厨房LP盤)	EM-QET250sq	(GP104)		(FEP125)
東L4	予備	EM-QET100sq	(EP75)			東P2	東1P-1(R-1)	EM-QET250sq	(GP104)		(FEP125)
						東P3	東1P-1(R-2×2)	EM-QET325sq	(GP104)		(FEP125)
DC1	B2L-1	EM-FPC8sq-2C	(EP39)			東P4	東1P-1(東2P-1+東3P-2)	EM-QET325sq	(GP104)		(FEP125)
DC2	B1L-1、1L-1	EM-FPC22sq-2C	(EP51)			東P5	東1P-1(機械室機器)	EM-QET250sq	(GP104)		(FEP125)
DC2-1	B1L-1	EM-FPC14sq-2C	(EP39)			東P6	東1P-1(機械室機器)	EM-QET250sq	(GP104)		(FEP125)
DC2-2	1L-1	EM-FPC8sq-2C	(EP39)			東P7	予備	EM-QET150sq	(GP92)		(FEP125)
DC3	2L-1、3L-1	EM-FPC38sq-2C	(EP51)			東EV1	東1P-1(EV+荷物用EV)	EM-QET150sq	(GP92)		
DC3-1	2L-1	EM-FPC22sq-2C	(EP51)								
DC3-2	3L-1	EM-FPC14sq-2C	(EP39)			保安1	B2L-1	EM-QET38sq	(EP63)		
DC4	4L-1、5L-1	EM-FPC38sq-2C	(EP51)			保安2	B1L-1	EM-QET38sq	(EP63)		
DC4-1	4L-1	EM-FPC22sq-2C	(EP51)								
DC4-2	5L-1	EM-FPC14sq-2C	(EP39)								



総合盤

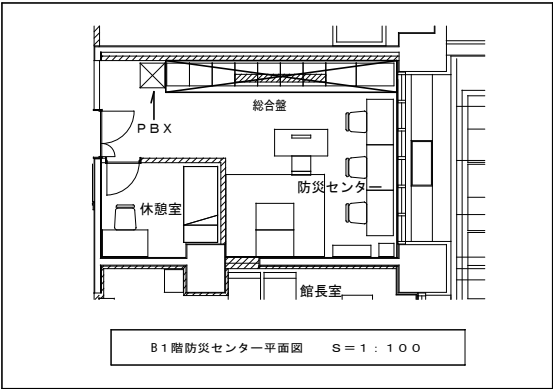
(正面)

総合盤

(側面)

別途工事とする

番号	名 称	備 考
①	自動火災報知受信機	
②	防災表示盤	
③	車庫用インターホン	
④	電気時計	
⑤	駐車場管制インターホン親機	
⑥	駐車場管制台数監視盤	
⑦	1TV設備架	
⑧	1TV設備架	
⑨	非常放送アンプ	
⑩	エレベーター・エスカレーター副監視盤	
⑪	リモコンコントローラスイッチ	



注記
1. 各機器の排熱を考慮したものとする。

※※図及び寸法は参考とする。

凡 例			
記 号	名 称	適 用	備 考
	電灯分電盤	分電盤結線図参照	
	動力制御盤	動力盤結線図参照	
	プルボックス	サイズ表参照	
	別途工事制御盤		
	壁貫通	区画貫通処理共	はつり復旧共

注記：特記なき配管配線は下記とする。

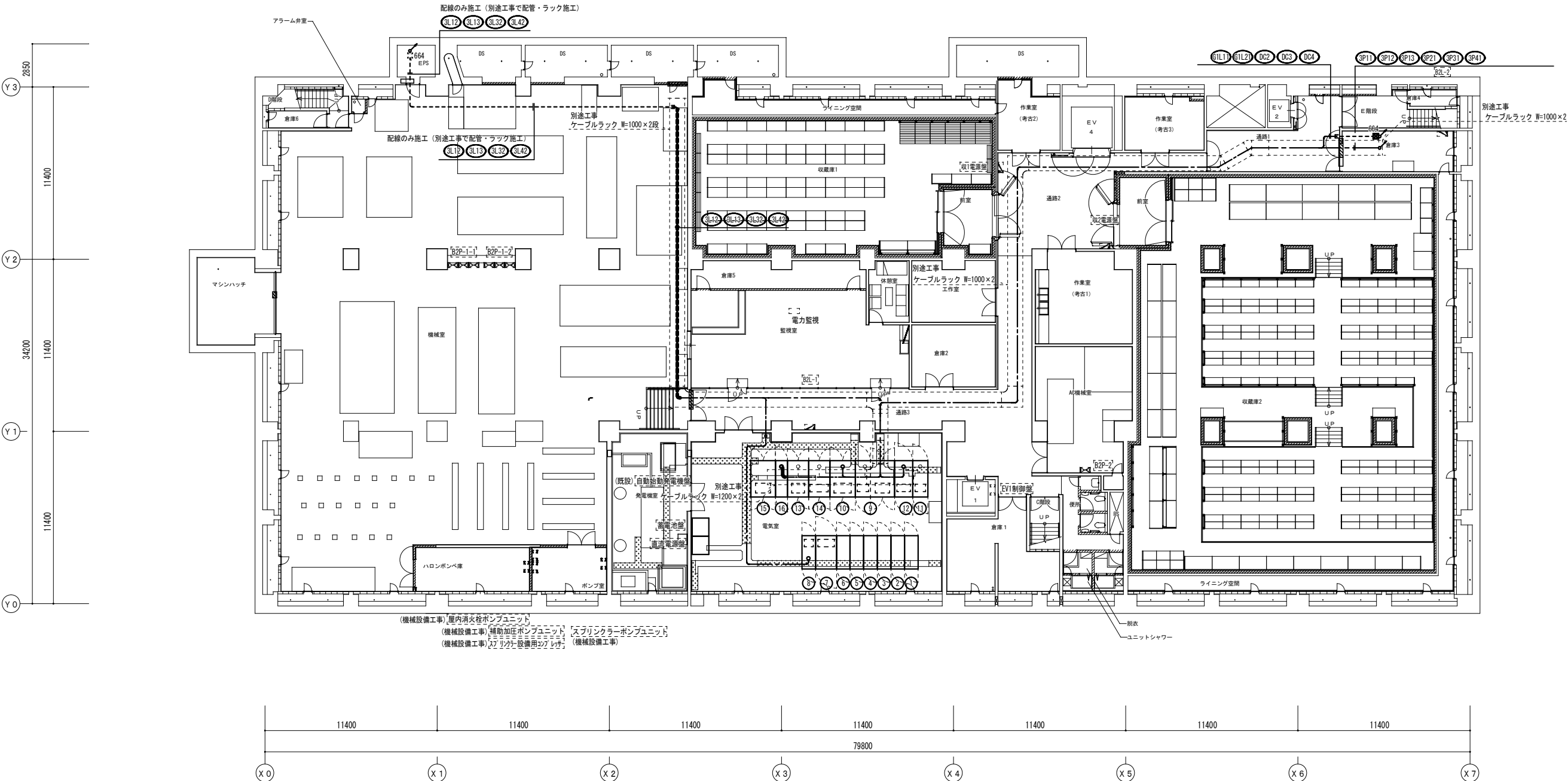
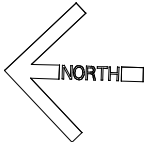
記 号	配 線	配 管
	コログシ配線	
	露出配管配線	

注1：太線で示す機器・配線は改修対象を示し、細線で示す機器・配線は工事対象外を示す。
注2：特記なき幹線ケーブルは幹線系統図参照。
注3：特記なき場合、配管配線とも施工すること。

プルボックスサイズ表

	222	200×200×200 鋼板製		222WP	200×200×200 SUS製
	332	300×300×200 鋼板製		332WP	300×300×200 SUS製
	333	300×300×300 鋼板製		442WP	400×400×200 SUS製
	442	400×400×200 鋼板製		553WP	500×500×300 SUS製
	444	400×400×400 鋼板製		663WP	600×600×300 SUS製
	553	500×500×300 鋼板製		666WP	600×600×600 SUS製
	554	500×500×400 鋼板製			
	663	600×600×300 鋼板製			
	664	600×600×400 鋼板製			
	666	600×600×600 鋼板製			
	883	800×800×300 鋼板製			

盤番号	盤名称
①	高圧引込盤
②	高圧受電盤
③	高圧母線連絡盤
④	高圧饋電盤No. 1
⑤	No. 1コンデンサ盤
⑥	No. 2コンデンサ盤
⑦	No. 1動力配電盤(発電機系統)
⑧	No. 1電灯配電盤(発電機系統)
⑨	No. 2動力配電盤(一般系統)
⑩	No. 3動力配電盤(一般系統)
⑪	No. 2電灯配電盤(一般系統)
⑫	No. 3電灯配電盤(一般系統)
⑬	No. 4動力配電盤(東館系統)
⑭	No. 4電灯配電盤(東館系統)
⑮	No. 5動力配電盤(一般系統)
⑯	非常灯盤



B2階平面図 S = 1 : 150

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事(週休2日) 設計図			
本館 幹線設備 B2階平面図(改修)		No. E07	
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300	62	改訂の頁
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部設備課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			

改修後

Y 1

NORTH

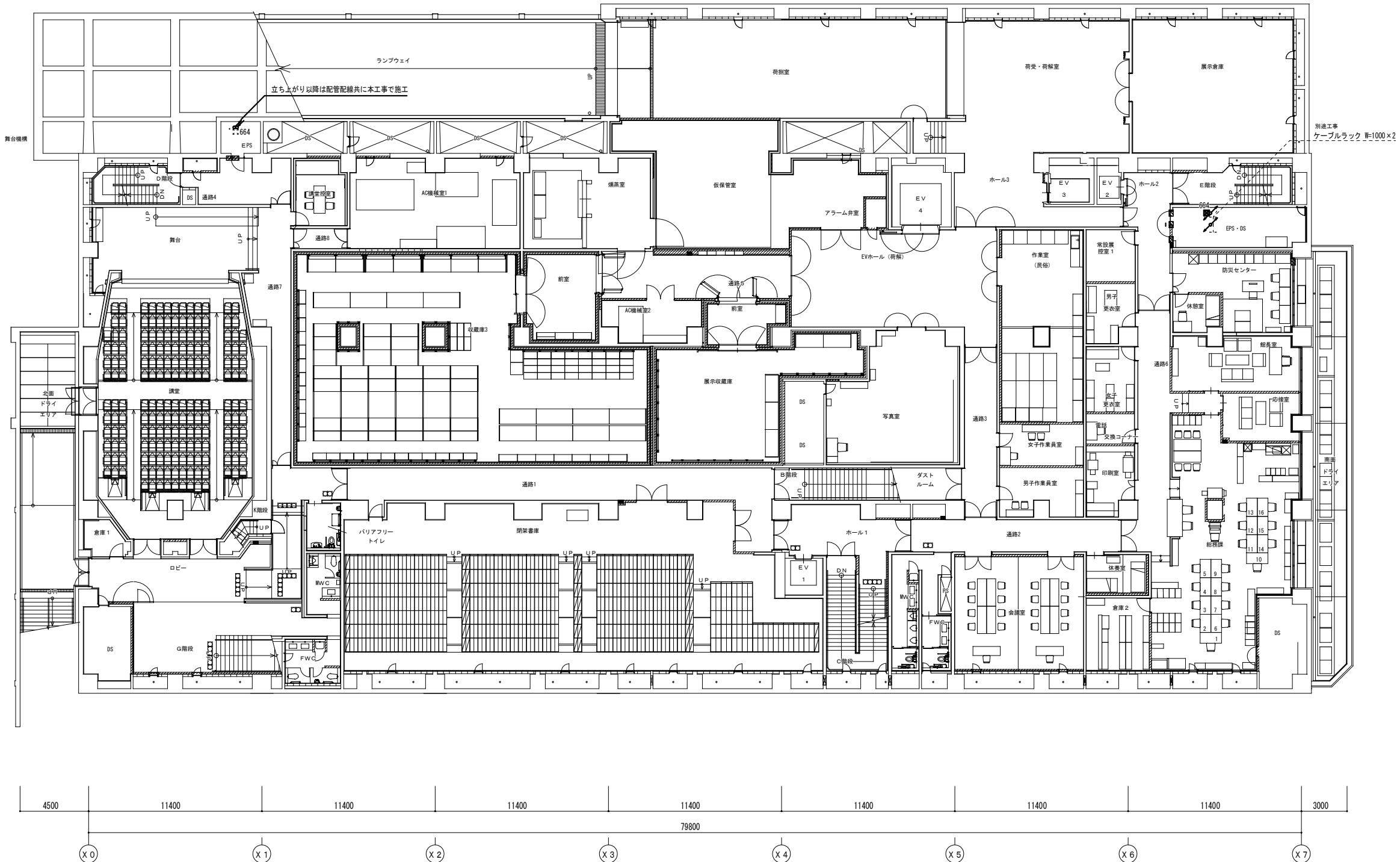
Y 4

Y 3

Y 2

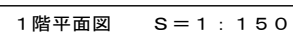
Y 1

Y 0

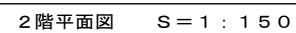


B 1 階平面図 S = 1 : 1 5 0

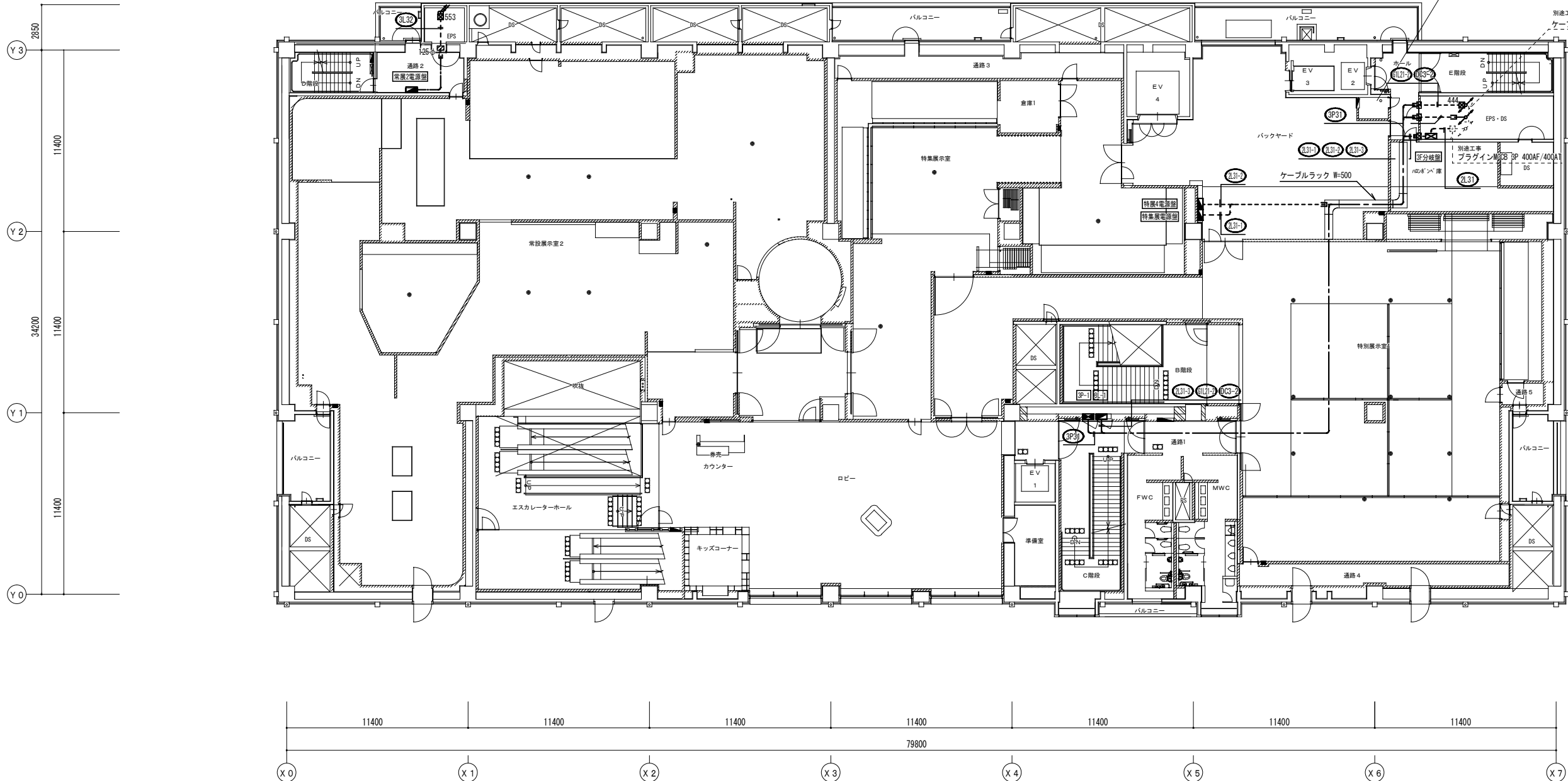
博物館展示室リニューアル改修その他電気工事(週休2 日) 設計図			
本館 幹線設備 B 1 階平面図 (改修)			No. E008
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300		62 枚 の 内
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部設備課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			



博物館展示室リニューアル改修その他電気工事（週休2日）設計図			
本館 幹線設備 1階平面図（改修）			No. E009
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300		62 夜の月
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部設備課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			

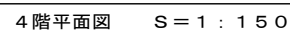


博物館展示室リニューアル改修その他電気工事（週休2日） 設計図			
本館 幹線設備 2階平面図（改修）			No. 図10
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300		62 枚の図
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕総務課課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			

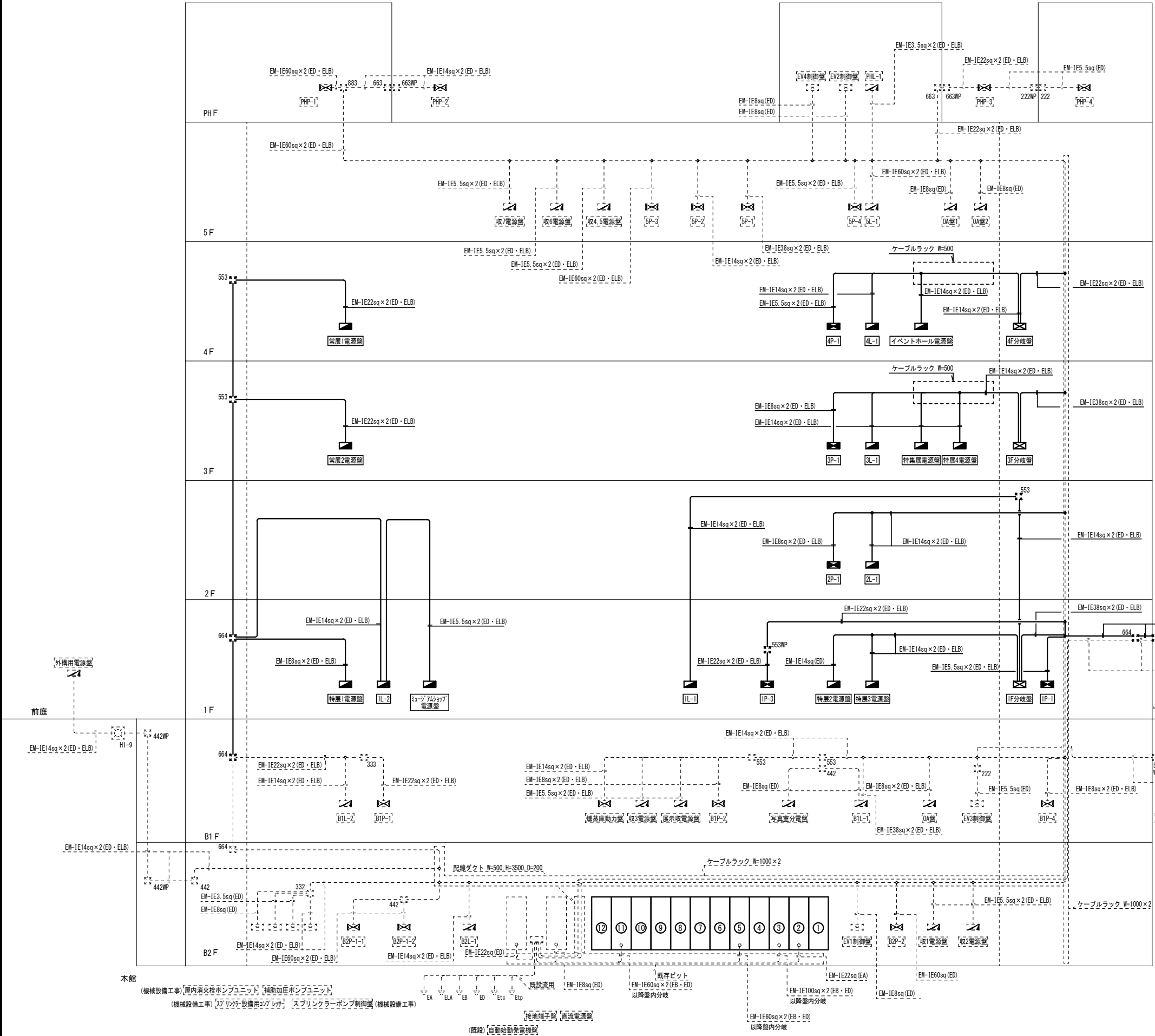


3階平面図 S = 1 : 150

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事(週休2 日) 設計図			
本館 幹線設備 3階平面図(改修)			No. 田11
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300		62 枚の西
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部設備課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			



博物館展示室）ニューアル改修その他電気工事（週休2日）設計			
本館 幹線設備 4階平面図（改修）			No. ID12
縮 尺	A1:1/50 A3:1/300		62
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部設備課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			



- ① 高圧受電盤
- ② 高圧母線連絡盤
- ③ No. 1電力配電盤(発電機系統)
- ④ No. 1動力配電盤(発電機系統)
- ⑤ No. 2電力配電盤(一般系統)
- ⑥ No. 3電力配電盤(一般系統)
- ⑦ No. 2動力配電盤(一般系統)
- ⑧ No. 3動力配電盤(一般系統)
- ⑨ No. 4電力配電盤(東館系統)
- ⑩ No. 4動力配電盤(東館系統)
- ⑪ 非常灯盤
- ⑫ No. 5電力配電盤(一般系統)

凡 例

記 号	名 称	適 用	備 考
■	電灯分電盤	分電盤結線図参照	
■	動力制御盤	動力盤結線図参照	
□	プルボックス	サイズ表参照	
■	別途工事制御盤		

プルボックスサイズ表

■ 222	200×200×200 銅板製	■ 222NP	200×200×200 SUS製
■ 332	300×300×200 銅板製	■ 442NP	400×400×200 SUS製
■ 442	400×400×200 銅板製	■ 553NP	500×500×300 SUS製
■ 553	500×500×300 銅板製	■ 663NP	600×600×300 SUS製
■ 663	600×600×300 銅板製		
■ 664	600×600×400 銅板製		
■ 883	800×800×300 銅板製		

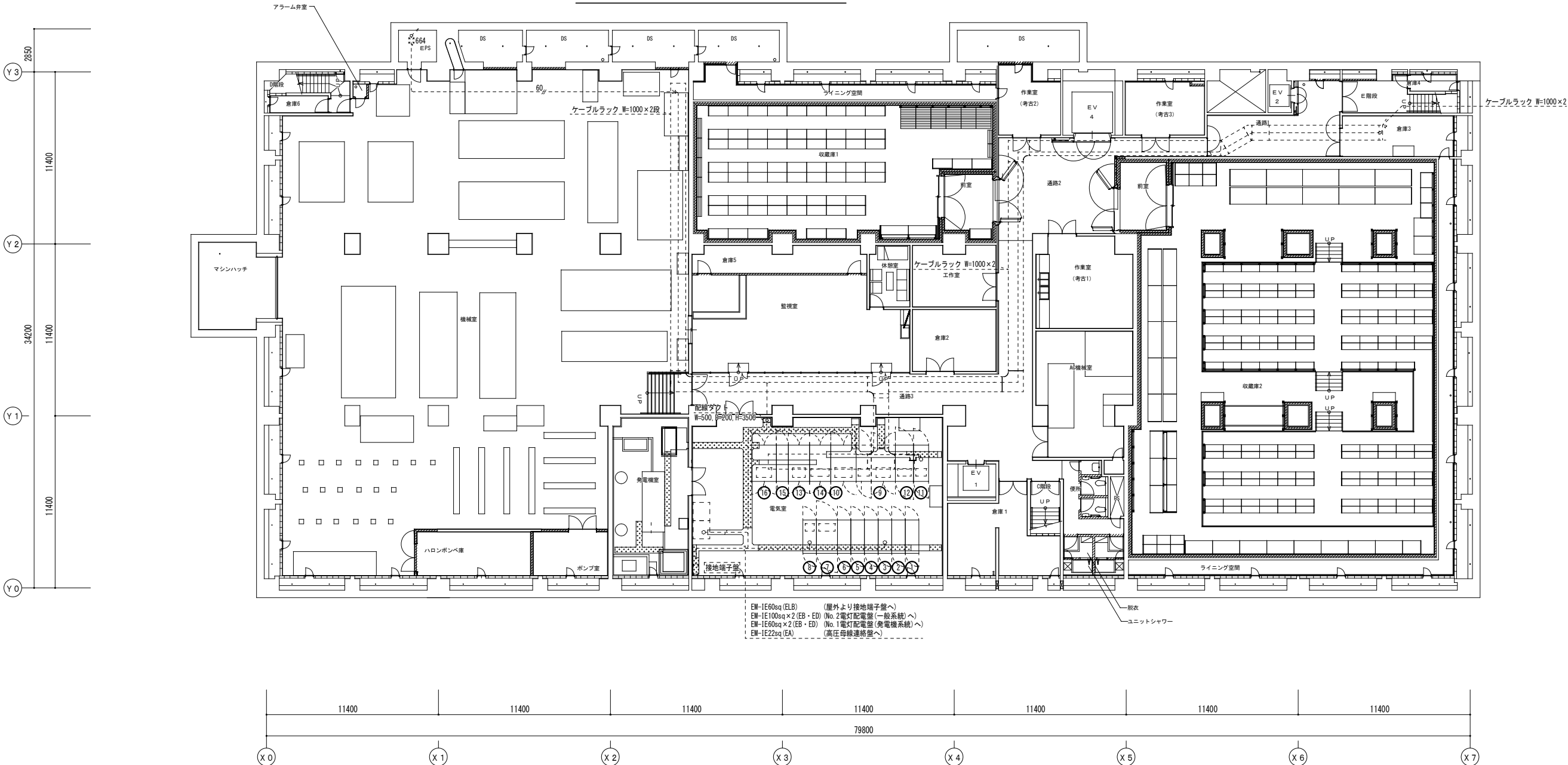
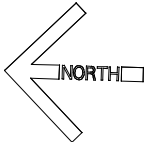
注記。特記なき配管配線は下記とする。

記 号	配 線	配 管
3.5	EM-IE3.5sq (ED)	
5.5	EM-IE5.5sq (ED)	
8	EM-IE8sq (ED)	
14	EM-IE14sq (ED)	
38	EM-IE38sq (ED)	
60	EM-IE60sq (ED)	
3.5	EM-IE3.5sq×2 (ED・ELB)	
5.5	EM-IE5.5sq×2 (ED・ELB)	
8	EM-IE8sq×2 (ED・ELB)	
14	EM-IE14sq×2 (ED・ELB)	
22	EM-IE22sq×2 (ED・ELB)	
38	EM-IE38sq×2 (ED・ELB)	
60	EM-IE60sq×2 (ED・ELB)	

記 号	配 線	配 管
----	コロガシ配線	
-----	露出配管配線	
-----	地中埋設配管配線	

注 1. 太線で示す機器・配線は改修対象を示し、細線で示す機器・配線は工事対象外を示す。
注 2. 特記なき限り幹線保護管に入線とする。
注 3. 特記なき配線は「EM-IE60sq×2 (接地母線)」とする。

盤番号	盤名称
①	高圧引込盤
②	高圧受電盤
③	高圧母線連絡盤
④	高圧饋電盤No.1
⑤	No.1コンデンサ盤
⑥	No.2コンデンサ盤
⑦	No.1動力配電盤 (発電機系統)
⑧	No.1電灯配電盤 (発電機系統)
⑨	No.2動力配電盤 (一般系統)
⑩	No.3動力配電盤 (一般系統)
⑪	No.2電灯配電盤 (一般系統)
⑫	No.3電灯配電盤 (一般系統)
⑬	No.4動力配電盤 (東館系統)
⑭	No.4電灯配電盤 (東館系統)
⑮	No.5動力配電盤 (一般系統)
⑯	非常灯盤



EM-IE60sq (ELB) (屋外より接地端子盤へ)
EM-IE100sq×2 (ED・ED) (No.2電灯配電盤 (一般系統) へ)
EM-IE60sq×2 (ED・ED) (No.1電灯配電盤 (発電機系統) へ)
EM-IE22sq (EA) (高圧母線連絡盤へ)

B2階平面図 S = 1 : 150

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事 (週休2日) 設計図		
本館 接地設備 B2階平面図 (改修)		No. ED14
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300	改 修 の 内 容
設計	令和 6年 3月 日	
名古屋市住宅都市局営繕部施設課		
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。		

改修後

Y 1

NORTH

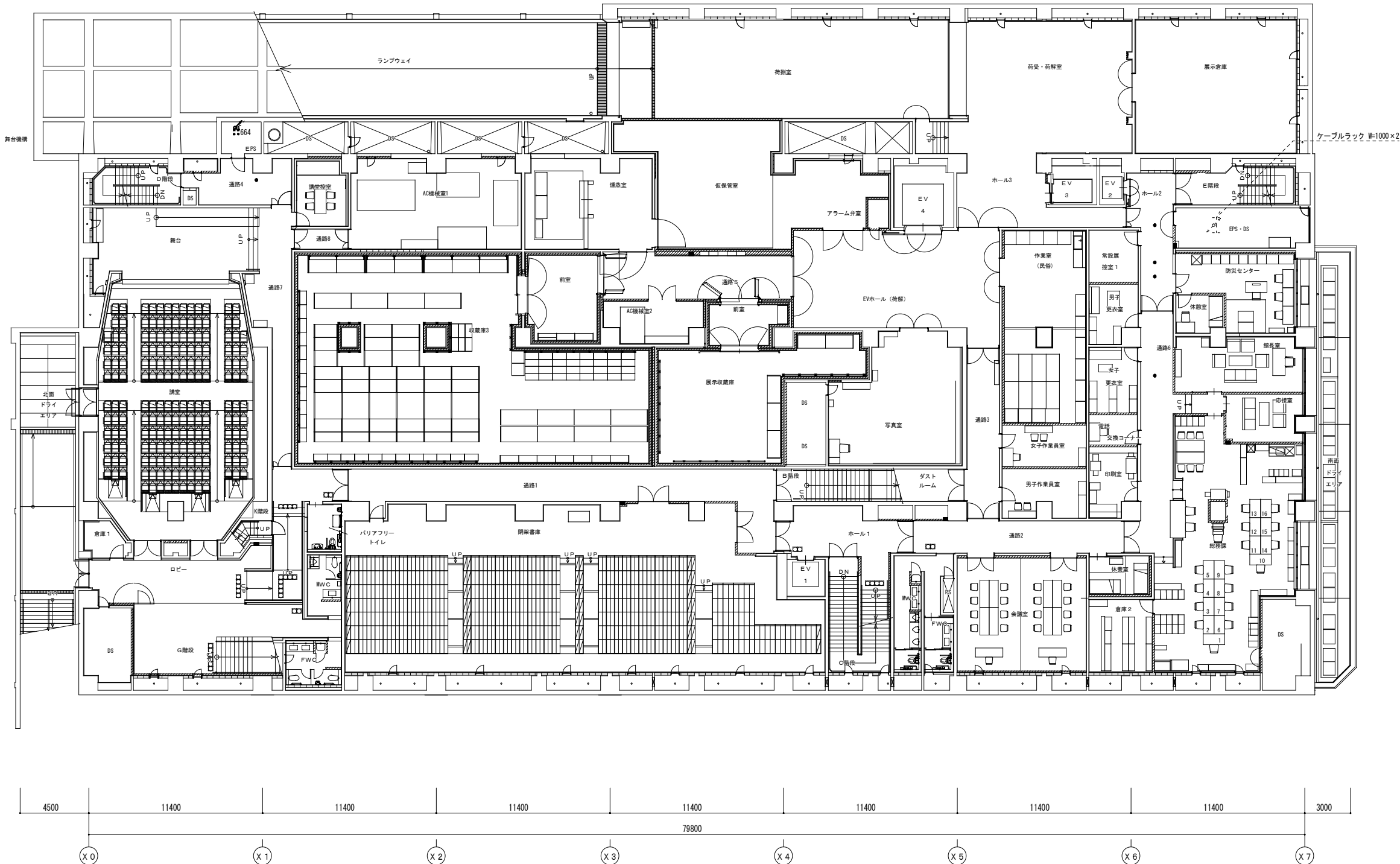
Y 4

Y 3

Y 2

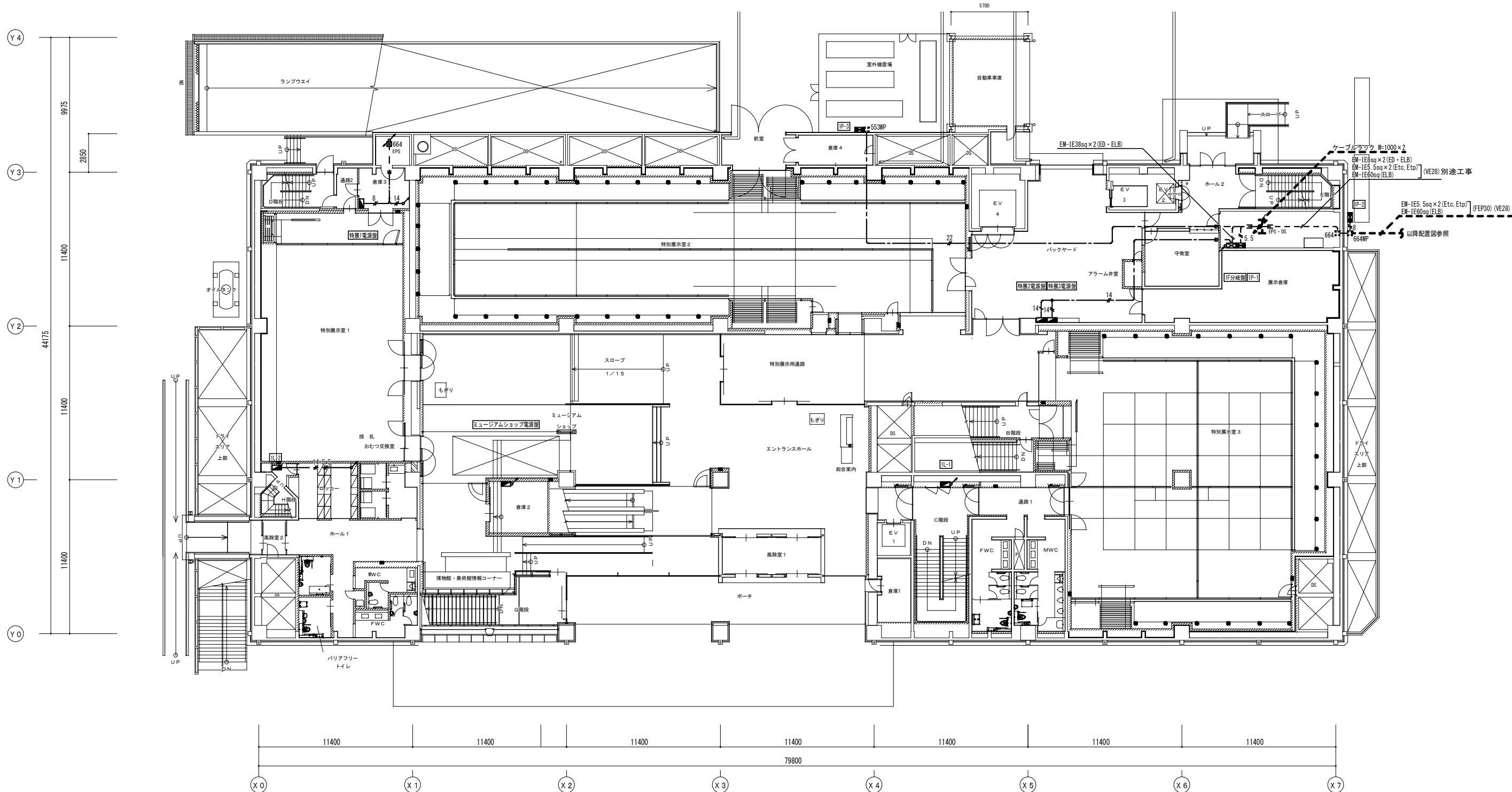
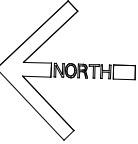
Y 1

Y 0



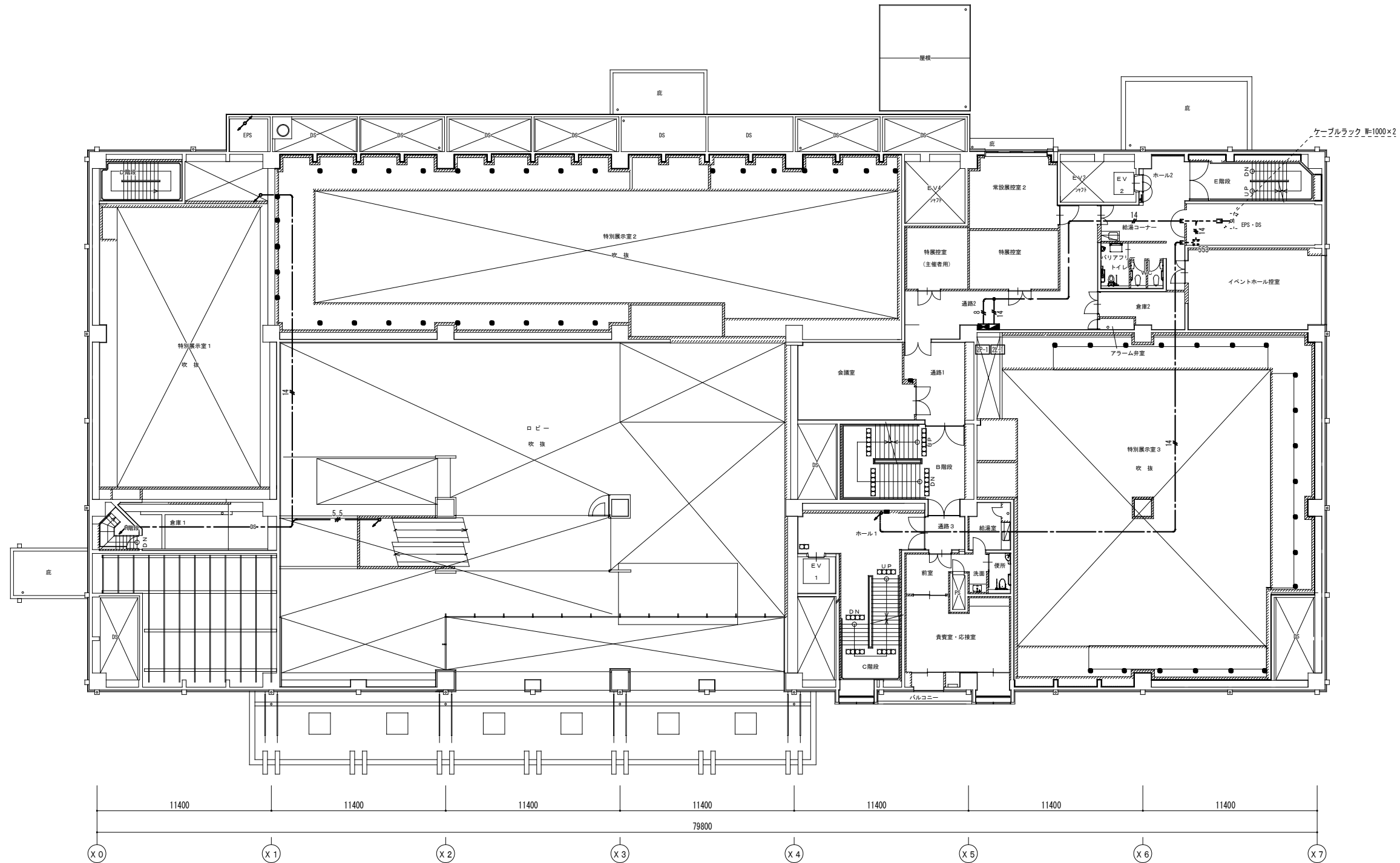
B 1 階平面図 S = 1 : 1 5 0

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事(週休2 日) 設計図			
本館 接地設備 B 1 階平面図 (改修)			No. ED15
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300		62 枚 の 内
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部設備課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			



1階平面図 S = 1 : 150

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事(週休2 日) 設計図			
本館 接地設備 1 階平面図 (改修)		No. ED16	
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300	62	改 訂 日
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営特別施設			
株式会社 浦野設計		本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。	



博物館展示室リニューアル改修その他電気工事(週休2 日) 設計図

本館 接施設備 2階平面図(改修) No. ED17

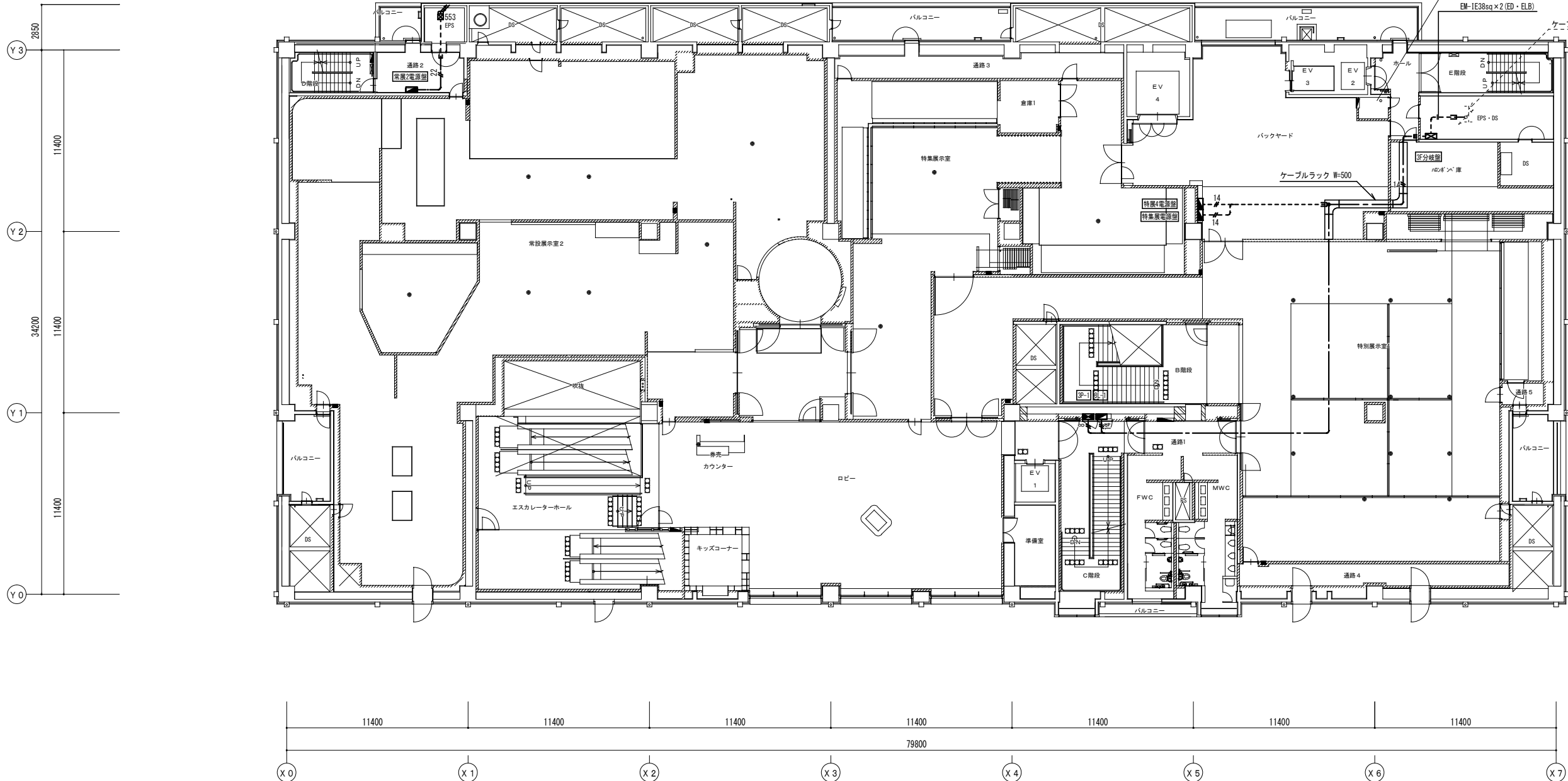
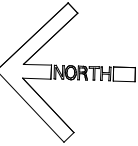
縮 尺 A1:1/150 A3:1/300 62 改の頁

設計 令和 6 年 3 月 日

名古屋市住宅都市局営繕部設備課

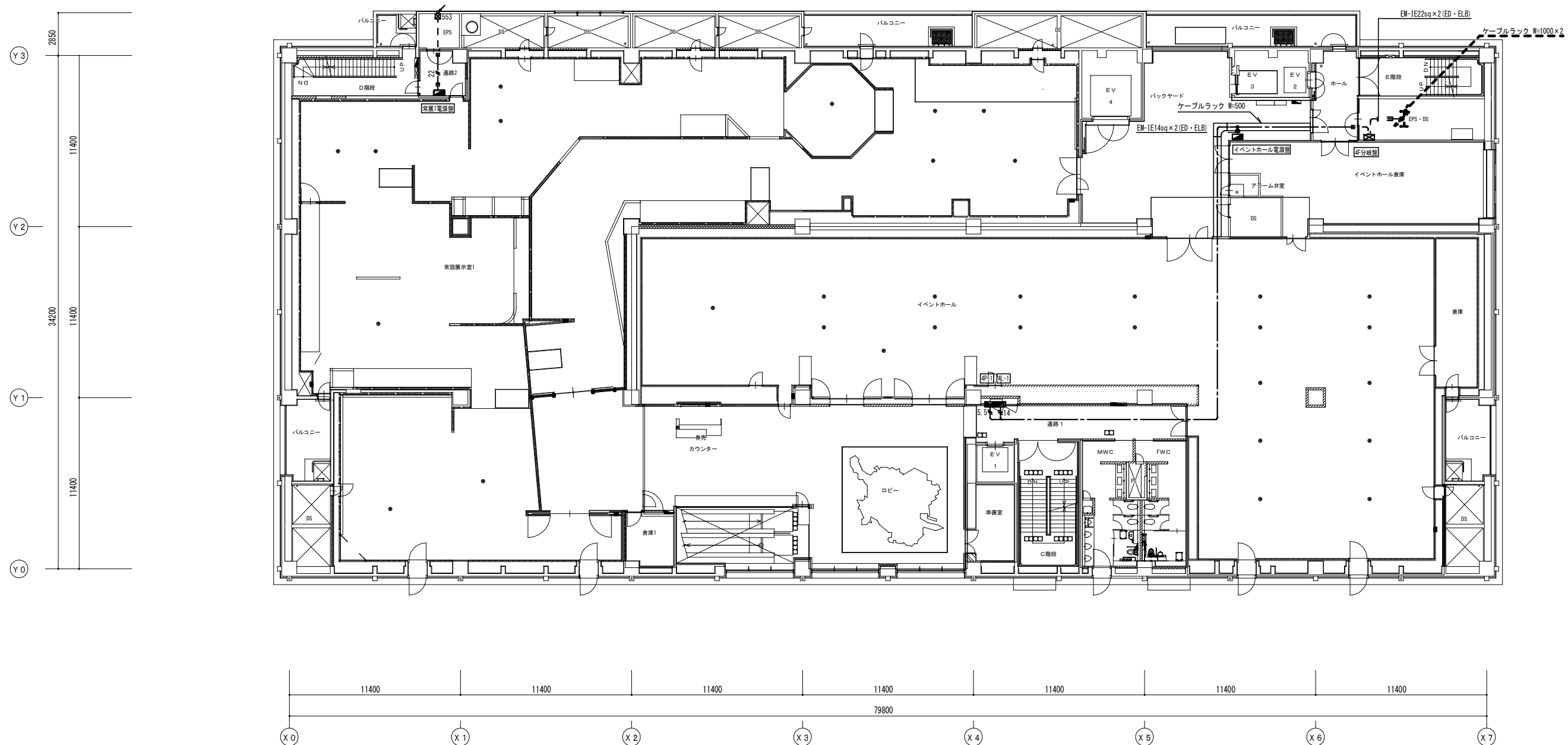
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。

株式会社 浦野設計



3階平面図 S = 1 : 150

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事(週休2 日) 設計図			
本館 接地設備 3階平面図(改修)			No. 図18
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300		62 枚の内
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部設備課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			

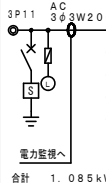


4 階平面図 S = 1 : 150

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事（週末2日） 設計図		
本館 接地設備	4階平面図（改修）	No. E19
縮 尺	A1:1/50 A3:1/300	62 枚の冊
設計	令和 6 年 3 月 日	
名古屋市住宅都市局営繕部随時配課		
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。		

改修後

動力制御盤リスト

盤名称 (盤形式)		電気方式 幹線番号 (合計容量 KW)	回路 番号	負荷記号	負 荷 名 称	負荷容量 電動機 (KW)	分岐開閉器 仕 様		結線記号	操作・表示	警報	排煙機 起動時の 停止	自動 及び 遠方 切替 COS	運転 及び イン ター ロック	二次側配電配線		備 考	
1P-1 (自立型)		3P11 AC 3φ3W200V 	電力監視へ 合計 1.085kW	1	MAC-16-1	空冷ヒートポンプエアコン(室内機)	0.31	ELCB3P50/15 30mA		A					EM-CE3.5sq-4C(1CE)(EP31)	機器接続部(F2 30WP)		
				2	8SS	電動シャッター	0.125	MCCB3P50/15		A					EM-CE3.5sq-4C(1CE)(EP31)	機器接続部(F2 30WP)		
				3	5SS	電動シャッター	0.125	MCCB3P50/15		A					EM-CE3.5sq-4C(1CE)(EP31)	機器接続部(F2 30WP)		
				4	6SS	電動シャッター	0.125	MCCB3P50/15		A					EM-CE3.5sq-4C(1CE)(EP31)	機器接続部(F2 30WP)		
				5	7SS	電動シャッター	0.4	MCCB3P50/15		A					EM-CE3.5sq-4C(1CE)(EP31)	機器接続部(F2 30WP)		
					制御電源			MCCB2P50/10										

(注記) 1. 使用する配線は、エコ電線・エコケーブルとする。

2. Sは低圧用SPDクラスⅡとする。SPDに設ける配線用遮断機は3P50A F/50Aト (定格遮断容量5kVA以上)とする。

3. 壁面用SPDは故障警報接点付とし、壁面に警報を表示する。

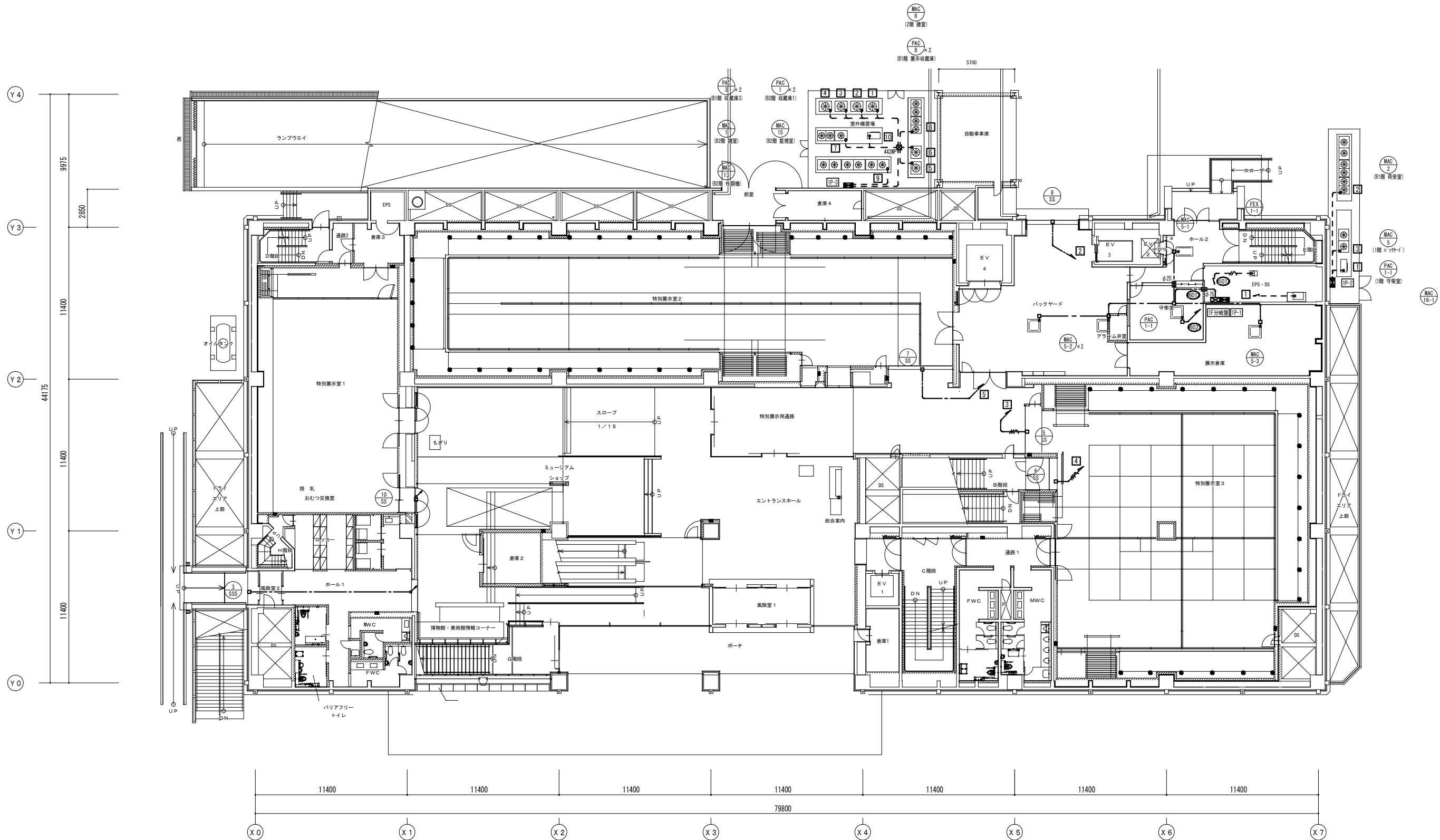
4. 動力盤から一括故障警報及びSPD警報を外部 (警報盤)へ出力する。

5. 火災警報により空調機・給排気ファンの停止を行う。

6. 盤の材質は鋼鉄製とし、WPIは屋外型溶融差動メッキ仕とする。

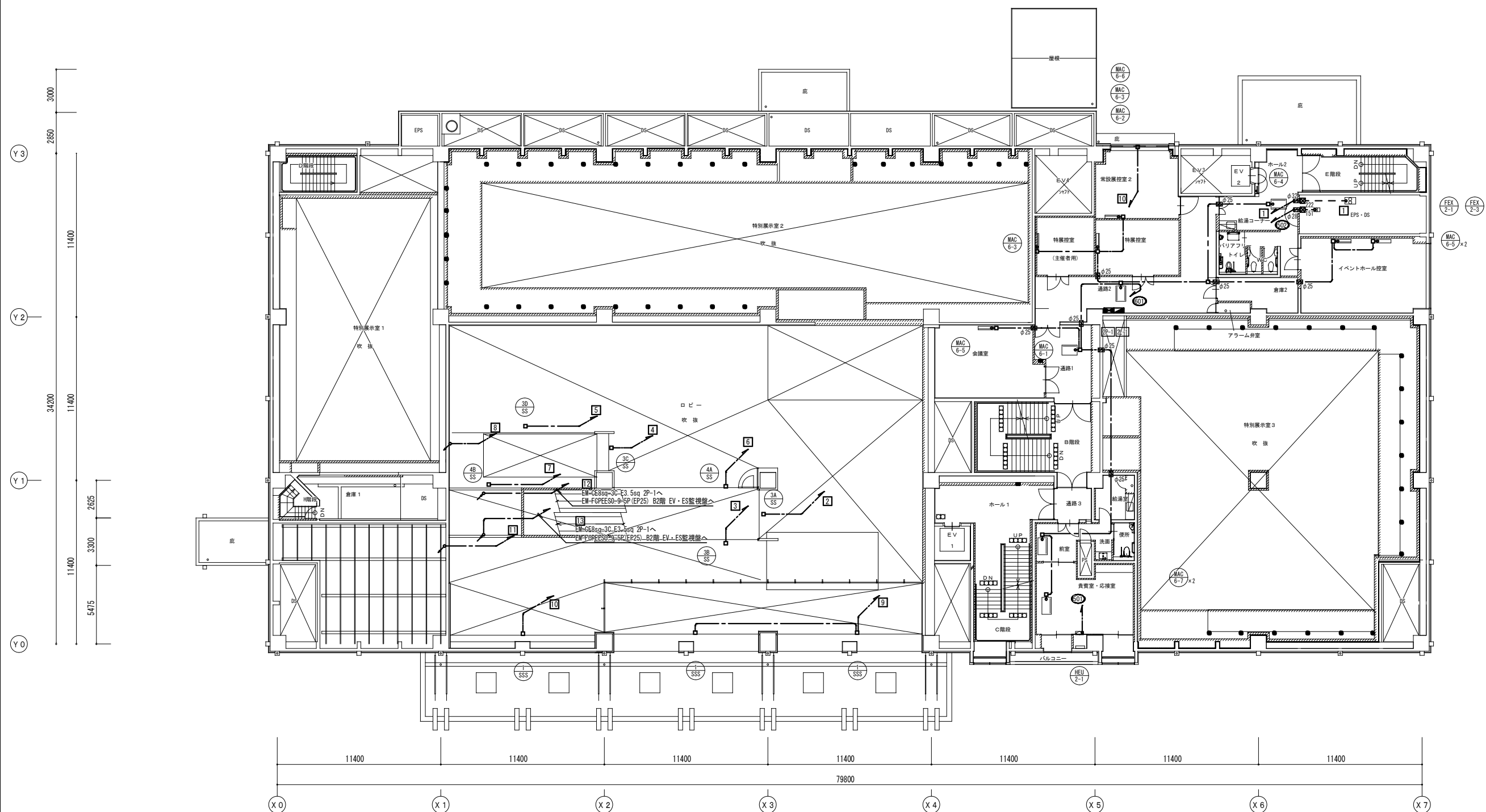
博物館展示室リニューアル改修その他電気工事（週休2日） 設計図		
動力壁結線図（2）（改修）		No. 図21
縮 尺	A1:- A3:-	62 枚の内
設計	令和 6 年 3 月	日
名古屋市住宅都市局営繕部設備課		
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。		

株式会社 浦野設計



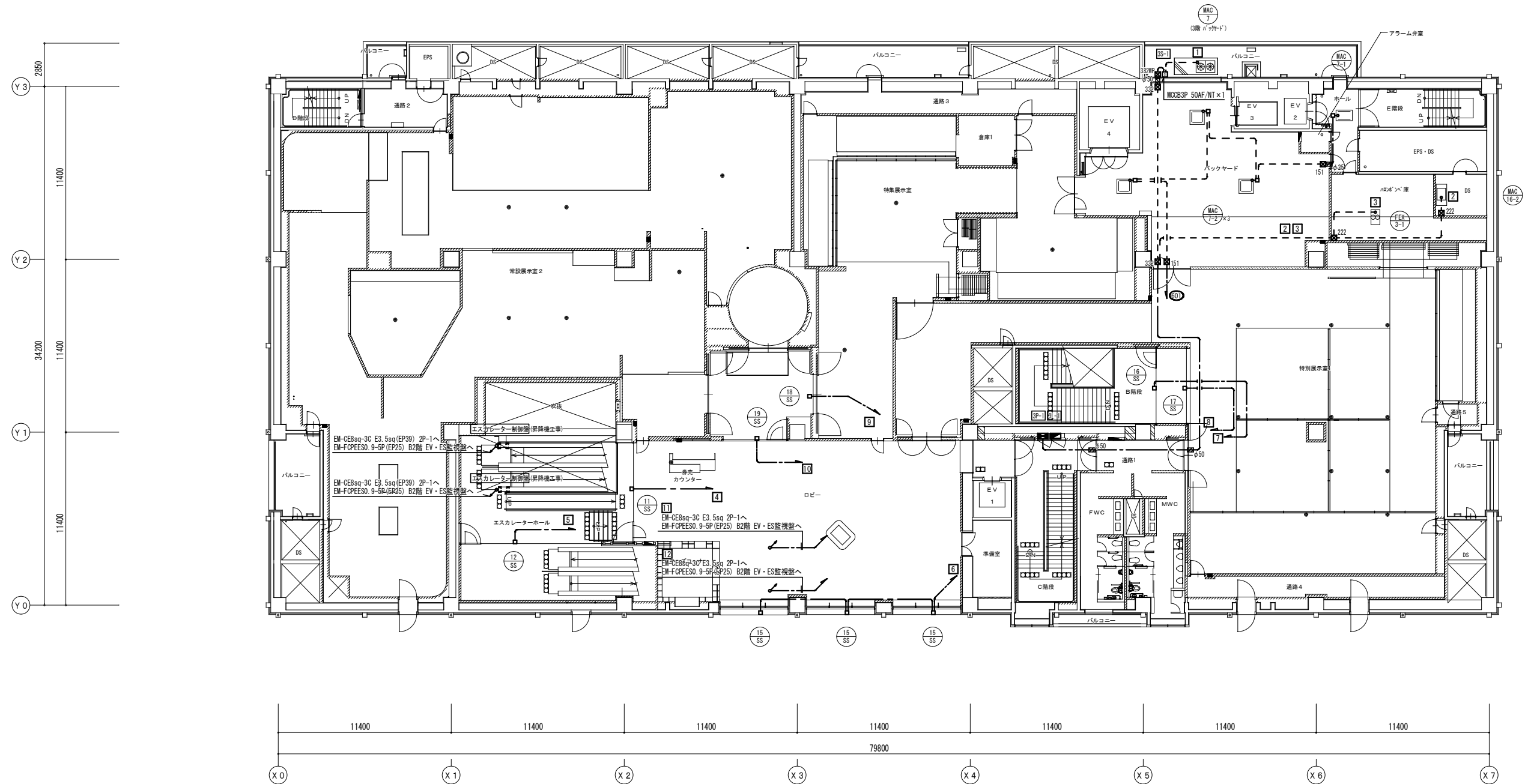
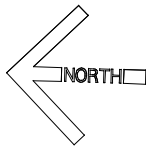
1 階平面図 S = 1 : 1 5 0

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事(週休2 日) 設計図			
本館 動力設備 1 階平面図 (改修)			No. E023
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300	62	枚の 内
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部建築課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			



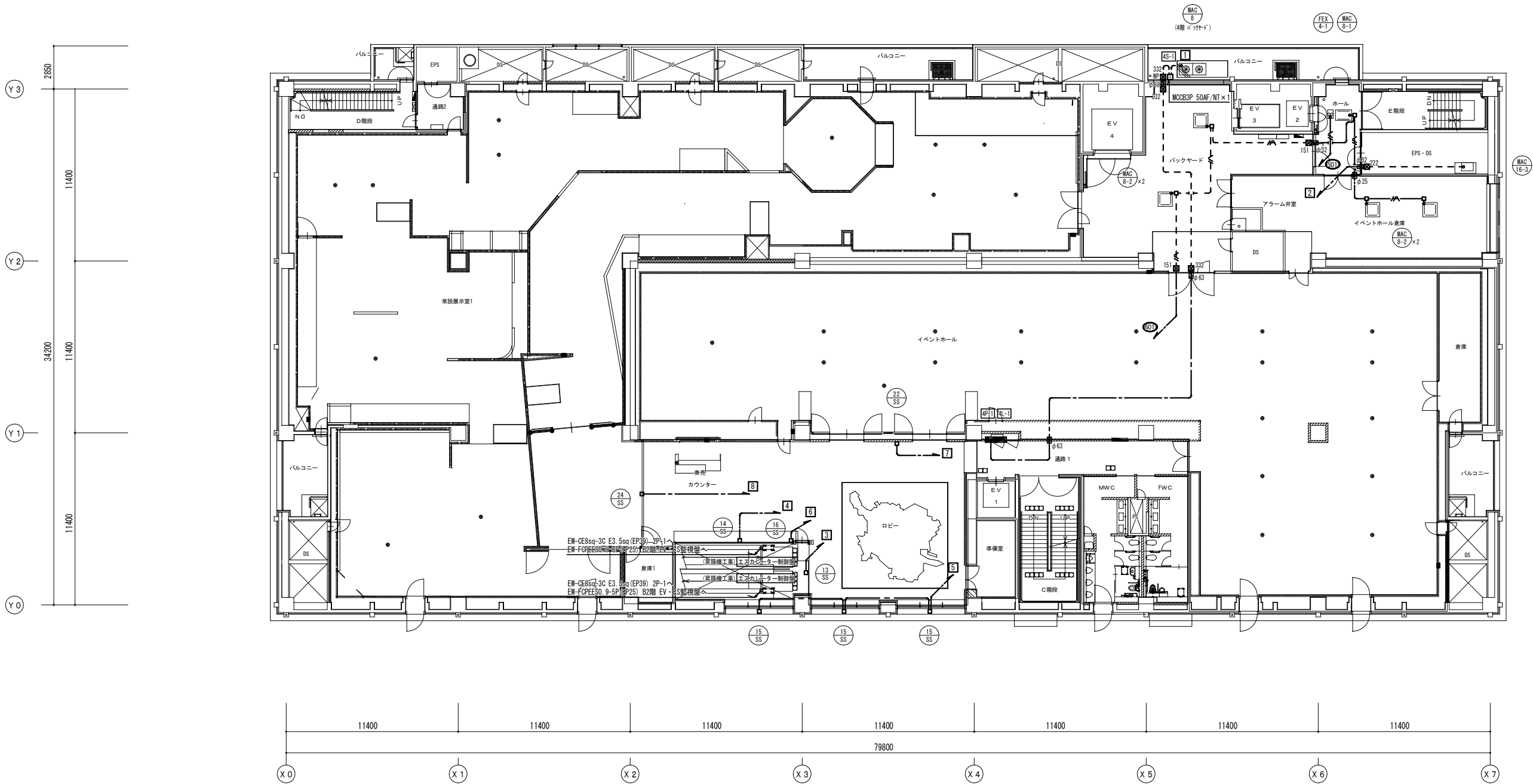
2階平面図 S = 1 : 150

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事（週休2日） 設計1国			
本館 動力設備 2階平面図（改修）			No. E224
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300		62 枚の用紙
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部設備課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			



3 階平面図 S = 1 : 1 5 0

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事(週休2 日) 設計図			
本館 動力設備 3 階平面図 (改修)			No. E025
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300		62 枚の内
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部設備課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			



4 階平面図 S = 1 : 1 5 0

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事(週休2 日) 設計図			
本館 動力設備 4 階平面図 (改修)			No. E026
縮 尺	A1:1/150 A3:1/300		62 枚 の 内
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部施設課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			

面タイプ	A	鋼板製自立型	B	鋼板製壁掛型
	C	鋼板製壁埋込型	D	鋼板製半埋込型
	E	樹脂製壁掛型	F	樹脂製半埋込型
扉	a	扉付	b	扉なし
把手	1	タンザク式	2	ハンドル式
	3	差し込みハンドル式		
錠	i	あり	ii	なし
ビス、蝶番	イ	表ビス表蝶番	ロ	表ビス表蝶番
記号	機 器 名 称 : 機 器 仕 様		記号	機 器 名 称 : 機 器 仕 様
MCB	配線用遮断器		27	不足電力継電器
ELS	漏電遮断器 : 30mA0.1秒動作		MC	電磁接触器
TS	ソーラータイマー : 480時間停電補償付		RT	リモコントランス
WH	電力量計 : 検定付		▲	リモコンリレー
SPD	雷保護装置		COS	自動手動切替器
	ON・OFFスイッチ(壁面に取付)			表示灯

1. 壁塗装は指定色メラミン焼付仕とする。
 2. WH付の壁は針金窓付とし、雄子会取付 負荷電流200A以上はCT付とする。
 3. 室内機器、遮断器、電磁接触器等には負荷名称を記入する。
 4. 中置は脱脂防止ビス付とする。
 5. 誘導灯・非常照明専用回路のMCCBには赤色のハンドルロックを取りつけること。
 6. 回路電圧は下記による。
- | | | | | | |
|-----|--------|---------|-----|--------|------|
| ①-② | AC100V | 電灯回路 | ①-③ | AC100V | 空調回路 |
| ①-④ | AC200V | | ①-⑤ | AC200V | |
| ①-⑥ | AC100V | コンセント回路 | | | |
| ①-⑦ | AC200V | | | | |
7. EPSの範囲が限られるため電灯分電盤は極力コンパクトに設計すること。
 8. 各壁リモコンリレーを予備で4つ見込むこと。
 9. 備考欄★の付いた負荷については中央監視設備への警報信号を取出すこと。
 10. 各壁の幹線に電力監視用CTを取付け電力監視装置に集約する。

博物館展示室リニューアル改修その他電気工事（週休2日）設計図			
分電盤結線図（2）（改修）			No. E028
縮	尺	A1:- A3:-	62 表の 内
設計	令和 6 年 3 月 日		
名古屋市住宅都市局営繕部設備課			
本図記入寸法は特記なき限り「mm」単位とする。			

[illegible]